

秩父多摩甲斐国立公園

公園計画書

[第2次点検]

令和5年3月31日

環境省

目 次

1 基本方針.....	1
2 規制計画.....	4
(1) 保護規制計画等.....	4
ア 特別地域.....	4
(ア) 特別保護地区.....	7
(イ) 第1種特別地域.....	12
(ウ) 第2種特別地域.....	18
(エ) 第3種特別地域.....	28
イ 関連事項.....	37
(ア) 採取等規制植物.....	37
(イ) 普通地域.....	46
ウ 面積内訳.....	49
3 事業計画.....	51
(1) 施設計画.....	51
ア 利用施設計画.....	51
(ア) 集団施設地区.....	51
(イ) 単独施設.....	54
(ウ) 道路.....	59
a 車道.....	59
b 歩道.....	61
(エ) 運輸施設.....	66
4 参考事項.....	67
(1) 過去の経緯.....	67

別添 供覧用総括図

1 基本方針

秩父多摩甲斐国立公園は、**雲取山**、**甲武信ヶ岳**、**国師ヶ岳**、**金峰山**等が連なる奥秩父主稜の高峰を中心に、両神山、大菩薩嶺、御岳昇仙峡、奥多摩や梓山等をも包含する広大なものである。地質は主として秩父帯や四万十帯の堆積岩類や花崗岩類からなっており、火山を含まないという、我が国では稀な山岳地域である。また、首都圏から最も近く、週末ともなると多くの人が集うことができる国立公園であり、山岳や渓谷が織りなす美しく変化に富んだ自然を求めて、自然探勝、ハイキング、登山、キャンプ、魚釣り、沢登り、社寺訪探等、様々な楽しみ方で本公園を訪れる人が多い。

このため、本公園が有する自然環境、文化的資源の現状を踏まえ、適切な利用を推進するため、以下の方針により公園計画を定める。

(1) 規制計画

ア 保護規制計画

(ア) 特別地域

ア) 特別保護地区

次に該当する地域で、厳正にその景観の保護を図る必要性の高い本公園の核心部を、特別保護地区とする。

- ・山岳、渓谷、岩峰、岩壁等の核心的な地形を有する地域
- ・優れた自然林及び草原を有する地域

イ) 第1種特別地域

次に該当する地域で、特別保護地区に準じ、優れた風致の維持を図る必要性の高い地域を、第1種特別地域とする。

- ・優れた山岳、渓谷、岩峰、岩壁等を有する地域
- ・優れた自然林を有する地域

ウ) 第2種特別地域

次に該当する地域で、努めて農林漁業活動との調整を図ることが必要な地域を、第2種特別地域とする。

- ・良好な自然植生、山岳部の稜線及び渓谷等、公園の風致景観構成上重要な地域で、良好な風致の維持を図る必要性の高い地域
- ・公園の主要な利用拠点及びその周辺の主たる展望対象地域
- ・公園利用拠点に通じる道路沿線及びその周辺

エ) 第3種特別地域

本公園の風致景観構成上重要な地域で、風致の維持を図る必要性が高く、森林施業をはじめとする通常の農林漁業活動が、特に風致に影響を及ぼすおそれの少ない地域を、第3種特別地域とする。

(イ) 関連事項

ア) 採取等規制植物

当該地域の風致の維持上重要な植物及び希少な高山植物や固有植物種を保全するため、採取等規制植物を定める。

イ) 普通地域

特別地域の周辺部で、風景の保護を図ることが必要な地域を、普通地域とする。

(2) 事業計画

ア 施設計画

(ア) 利用施設計画

ア) 集団施設地区

・三峰は、三峰から雲取山へと続く稜線沿いに整備されている。二瀬三峰線車道が通じており、地区の中央には三峯神社が鎮座し、雲取山にかけての登山道の起点となっている。その為適正な利用を図る上での拠点として重要な地区である。これらのことから、集団施設地区として維持し、適切な整備方針を定める。

・奥多摩湖岫沢は、奥多摩湖の南岸に整備されている十里木小河内線車道に接する谷沿いの区域であり、東京都郊外における自然レクリエーションの場として、多くの利用者が訪れている。その為適正な利用を図る上での拠点として重要な地区である。これらのことから、集団施設地区として維持し、適切な整備方針を定める。

イ) 単独施設

- ・山岳部の歩道沿線に、登山利用者等のための宿舎、避難小屋等を計画する。
- ・各登山口及び主要利用拠点には、自然・利用情報の提供、登山案内等のための博物展示施設を計画する。
- ・山麓部の車道、渓谷沿いの歩道沿線には、園地、宿舎、野営場、駐車場等を計画する。
- ・現行計画のうち、未だ事業執行されていないもので、今後とも整備の可能性及び必要性の低いものについては、計画から削除する。

ウ) 道路（車道）

利用拠点へのアクセスを確保するため、次の考え方により車道を計画する。

- ・既に整備されている道路であって、公園利用上必要性の認められるものについては、計画に追加する。
- ・現行計画のうち、既に整備されている路線については、その目的及び利用状況等に応じて再編成する。
- ・現行計画のうち、未だ整備されていない路線で、今後とも整備の可能性及び必要性の低いものについては、計画から削除する。

エ) 道路（歩道）

山岳及び渓谷の登山、探勝等に対し、次の考え方により歩道を計画する。

- ・公園利用上必要性が認められ、既に整備されているもの又は整備の見込まれるものについては、計画に追加する。
- ・現行計画のうち、既に整備されている路線については、その目的及び利用状況等に応じて再編成する。
- ・現行計画のうち、未だ整備されていない路線で、今後とも整備の可能性及び必要性の低いものについては、計画から削除する。

オ) 運輸施設

既に整備されている索道運送施設等であって、公園利用上必要性の認められるものに

については、計画を追加する。なお、現行計画のうち、未だに整備されていない路線で、今後とも整備の可能性及び必要性の低いものについては、計画から削除する。

2 規制計画

(1) 保護規制計画等

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都県名	区 域	面 積(ha)
埼玉県	秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 41林班から61林班まで、65林班、74林班及び75林班の全部並びに63林班、64—I林班及び67林班から70林班までの各一部 秩父市 おおたき なかつがわ 大滝、中津川及び三峰の各一部	12,275 国 7,388 公 2,789 私 2,098
	秩父郡小鹿野町 りょうかみすすき 両神薄の一部	436 国 0 公 0 私 436
	小計	12,711 国 7,388 公 2,789 私 2,534
東京都	青梅市 みたけさん さわい 御岳山の全部並びに沢井一丁目、沢井二丁目、沢井三丁目、 ぼいごう 梅郷三丁目、梅郷五丁目、梅郷六丁目、ひなたわだ 日向和田三丁目、 ふたまたお 二俣尾一丁目、二俣尾二丁目、二俣尾三丁目、二俣尾四丁目、二 俣尾五丁目、御岳本町、御岳一丁目、御岳二丁目、ゆぎまち 柚木町一丁 目、柚木町二丁目及び柚木町三丁目の各一部	699 国 72 公 1 私 626
	あきる野市 おつ ようざわ 乙津及び養沢の各一部	494 国 0 公 17 私 477
	西多摩郡日の出町 おおぐのかんよう まつお みつざわ 大字大久野肝要・松尾・三ツ沢の一部	167 国 0 公 89 私 78

	<p>西多摩郡檜原村</p> <p>おおだけ かずま かのと くらかけなんごう ひざと ふじわら 大嶽の全部並びに数馬、神戸、倉掛、南郷、樋里、藤原及び へんぼり 人里の各一部</p>	1,978 (国 0) (公 554) (私 1,424)
	<p>西多摩郡奥多摩町</p> <p>うなぎわ うめざわ おおたば かわい かわの こうち こたば さかい 海沢、梅沢、大丹波、川井、川野、河内、小丹波、境、 しろまる たなざわ たんざぶろう とづら にっぽら はら ひかわ 白丸、棚沢、丹三郎、留浦、日原、原及び冰川の各一部</p>	11,626 (国 129) (公 9,144) (私 2,353)
	小計	14,964 (国 201) (公 9,805) (私 4,958)
山梨県	<p>甲府市内</p> <p>国有林山梨森林管理事務所</p> <p>1林班から3林班までの全部</p> <p>甲府市</p> <p>いかりちょう かみおびなちょう かわくぼちょう くろべらちょう そうかざわちょう 猪狩町、上帶那町、川窪町、黒平町、草鹿沢町、 しもおびなちょう たかまち たかなりちょう たけひなたちょう ひらせちょう 下帶那町、高町、高成町、竹日向町、平瀬町及び みたけちょう 御岳町の各一部</p>	2,705 (国 80) (公 1,883) (私 742)
	<p>山梨市</p> <p>まきおかちょう きたばらしおだいら みとみかみかまぐち みとみかわうら みとみとくわ 牧丘町北原塩平、三富上釜口、三富川浦及び三富徳和の 各一部</p>	7,384 (国 0) (公 6,216) (私 1,168)
	<p>北杜市</p> <p>すだまちょう おび すだまちょう ひし 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部</p>	2,747 (国 0) (公 2,405) (私 342)
	<p>甲斐市</p> <p>きつさわ しもふくざわ 吉沢及び下福沢の各一部</p>	171 (国 0) (公 136) (私 35)
	<p>甲州市</p> <p>えんざんいちのせたかはし えんざんかみはぎはらはぎはらやま 塩山一之瀬高橋及び塩山上萩原萩原山の各一部</p>	3,924 (国 0) (公 3,801) (私 123)

	北都留郡小菅村 こすげ 小菅第1の一部	1,115 国 0 公 1,115 私 0
	北都留郡丹波山村 かもさわ たばやま ところはた ほのせしも 鴨沢、丹波山、所畠及び保之瀬下の各一部	6,406 国 0 公 6,303 私 103
	小計	24,452 国 80 公 21,859 私 2,513
長野県	南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 44林班から47林班まで、49林班から56林班まで、58林班及び59 林班の全部並びに60林班及び63林班の各一部 南佐久郡川上村 あきやま あづさやま 大字秋山及び大字梓山の各一部	4,360 国 3,183 公 429 私 748
	合 計	56,487 国 10,852 公 34,882 私 10,753

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区域を特別保護地区とする。

(表2：特別保護地区総括表)

都県名	区 域	面 積(ha)
埼玉県	秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 57林班から59林班までの全部並びに42林班から47林班 まで、49林班から56林班まで及び60林班の各一部	1,698 国 1,698 公 0 私 0
東京都	西多摩郡檜原村 数馬の一部	76 国 0 公 76 私 0
	西多摩郡奥多摩町 日原の一部	72 国 0 公 72 私 0
	小計	148 国 0 公 148 私 0
山梨県	甲府市内 猪狩町、上帶那町及び御岳町の各一部	309 国 0 公 309 私 0
	山梨市 三富上釜口、三富川浦及び牧丘町北原塩平の各一部	353 国 0 公 250 私 103
	北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	343 国 0 公 343 私 0
	甲斐市 吉沢の一部	59 国 0 公 59 私 0

都県名	区 域	面 積(ha)
	甲州市 塩山一之瀬高橋及び塩山上萩原萩原山の各一部	288 (国 0 公 288 私 0)
	北都留郡丹波山村 丹波山の一部	314 (国 0 公 314 私 0)
	小計	1,666 (国 0 公 1,563 私 103)
長野県	南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 45 林班、47 林班、50 林班、53 林班、54 林班、56 林班及び 58 林班の各一部	279 (国 279 公 0 私 0)
	合 計	3,791 (国 1,977 公 1,711 私 103)

(表3：特別保護地区内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
甲武信ヶ岳 雲取山から甲武 信ヶ岳に至る山 稜	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 57林班から59林班までの全部並びに42林班から47林班まで、49林 班から56林班まで及び60林班の各一部 東京都西多摩郡奥多摩町 日原の一部 山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋の一部 山梨県山梨市 三富川浦の一部 山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部 長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 45林班及び47林班の各一部	甲武信ヶ岳は長野県側の千曲川(信濃川)、山梨県側の笛吹川(富士川)と埼玉県側の荒川を分ける位置にあり、山容は拳状をなし、山体は花崗閃緑岩で、標高2,000m以上の山嶺部一帯はコメツガ、トウヒ、シラビソ、オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林に被覆している。 甲武信ヶ岳の北東面山腹は、荒川源流部(眞の沢一帯)にあたり、その標高は1,200mから2,475mにもわたるため、落葉広葉樹林帯から亜高山性針葉樹林帯に至る自然林が広がり、保存状態は極めて良好である。稜線近くのシラビソオオシラビソ群集、1,600m以上のコメツガ群落を主とする亜高山性針葉樹林、1,200m以上のブナースズタケ群集等の落葉広葉樹林に加えて、溪流沿いにはシオジーミヤマクマワラビ群集といった多様性に富んだ垂直分布の植生が見られる。 一方、雲取山から大滝山(飛龍山)、笠取山、雁坂峠を経て甲武信ヶ岳に至る地区は、2,000m級の山々が直線距離にして約20kmにもわたり連なる構造山地の山稜となっており、奥秩父縦走競歩道が整備されている。この歩道沿線では、コメツガ、トウヒ、シラビソ等の亜高山性針葉樹林に、コケ類、シダ類が地床となる本公園及び雁坂峠等で見られるミヤコザサ群落の草原も特筆すべきものがある。 厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	2,638 (国公私 1,787 748 103)
瑞牆山 金峰山	山梨県甲府市 御岳町の一部 山梨県北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部 長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 53林班、54林班、56林班及び58林班の各一部	金峰山は、山梨、長野の県境にそびえる秩父山塊の盟主で、山体は花崗岩で構成される。山頂部では、高山性植生であるハイマツ群落の広がる中、ハクサンシャクナゲ、キバナシャクナゲ、コケモモ等の散在する特筆すべき景観が見られる。また、山頂周辺には、コメツガ、トウヒ、シラビソ、オオシラビソ等の亜高山性針葉樹林が広がっている。 金峰山の西方に位置する瑞牆山は、浸食による花崗岩が山頂につき出している奇峰が印象的で、八ヶ岳や南アルプスの展望に優れている。その特徴ある岩峰の林立する景観は特筆され、植生はコメツガ等の亜高山性針葉樹林が主であるが、アズマシャクナゲも多い。この両山を中心とする一帯は、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	771 (国公私 149 622 0)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
けいかんさん 鶴冠山	山梨県山梨市 三富川浦の一部	甲武信ヶ岳の南側に位置する鶴冠山は、標高は、122mとさほど高くないものの、急峻な岩塊からなる特異な山体を有するため、特に西沢渓谷の入口から目立つ存在である。コメツガ等の亜高山性針葉樹の中には、少な灌木の落葉広葉樹の混交する自然林や、ハクサンシヤクナゲ群落等が特筆され、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	(国) 78 (公) 0 (私) 78 0
国師ヶ岳	山梨県山梨市 三富上金口及び牧丘町北原盆地の各一部 長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 50林班及び33林班の各一部	国師ヶ岳は山頂部が平坦な特異地形を有する。一方、国師ヶ岳の南に位置する北奥千丈岳は、標高2,601mで本公園の最高峰をなしている。植生はシラビソーオオシラビソウ等が主であるが、北奥千丈岳ではハイマツ、ハクサンシャクナゲ群落等が広がり、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	(国) 75 (公) 41 (私) 34 0
乾黒金山	山梨県山梨市 三富上金口及び三富徳和の各一部	昔、修驗道の靈地とされていた乾徳山山頂は、巨石が重なり合い、石祠がまつられており、四隅の大觀が見事である。一方、黒金山山頂は、雲取山から甲武信ヶ岳に至る山稜が間近に見える展望を誇る。植生は、コメツガ等の亜高山性針葉樹の中に矮少な灌木の落葉広葉樹が混交する自然林や、ハクサンシャクナゲ等が見られ、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	(国) 14 (公) 0 (私) 14 0
御岳昇仙峡	山梨県甲府市 猪狩町及び上條那町の各一部 山梨県甲斐市 吉沢の一部	御岳昇仙峡は甲府盆地に流れ込む荒川(富士川水系)が刻んだ渓谷で、約100mにも及ぶ岩壁や仙娥滝等の滝が連続するほか、覚円峰をはじめとする岩峰の林立する特異な景観を有する。これらは割れ目の少ない花崗岩の岩体が浸食、風化に抵抗しており、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	(国) 89 (公) 0 (私) 89 0
大菩薩峠	山梨県甲州市 塩山上萩原萩原山の一部	大菩薩嶺は中里介山の長編小説「大菩薩峠」で有名な山であり、多摩川水系と富士川水系の分水嶺にあたる。大菩薩峠や石丸峠付近では、ヤナギラン、テガタチドリ等が見られる草原が広がり、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	(国) 50 (公) 0 (私) 50 0

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)						
二頭山 みとうさん	東京都西多摩郡檜原村 数馬の一部	二頭山は、多摩川の支流である秋川源流部を擁する。東京都内でまとまったブナ林の見られ、「都民の森」として整備されている。ブナ林の他にも、ミズナラ、カツラ、シオジ、ナツツバキ、ダケカンバ等の落葉広葉樹林が見られ、厳正に景観の保護を図る必要性の高い地区である。	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>76</td> </tr> </table>	国	76	公	0	私	76
国	76								
公	0								
私	76								
	合計		<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>1,977</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>1,711</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>103</td> </tr> </table>	国	1,977	公	1,711	私	103
国	1,977								
公	1,711								
私	103								

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都県名	区 域	面 積(ha)
埼玉県	秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 74林班及び75林班の全部並びに42林班から44林班まで、51林班 から56林班まで、60林班及び63林班の各一部	2,797 国 2,707 公 7 私 83
東京都	青梅市 御岳山の一部	21 国 0 公 0 私 21
	西多摩郡奥多摩町 日原の一部	2,518 国 0 公 2,321 私 197
	小計	2,539 国 0 公 2,321 私 218
山梨県	甲府市 上帶那町、川窪町、黒平町、高町及び御岳町の各一部	422 国 0 公 410 私 12
	山梨市 三富上釜口、三富川浦、三富徳和及び牧丘町北原塩平の各一部	619 国 0 公 619 私 0
	北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	482 国 0 公 482 私 0
	甲斐市 吉沢及び下福沢の各一部	27 国 0 公 18 私 9

都県名	区 域	面 積(ha)
	甲州市 塩山一之瀬高橋及び塩山上萩原萩原山の各一部	469 国 0 公 469 私 0
	北都留郡小菅村 小菅第1の一部	166 国 0 公 166 私 0
	北都留郡丹波山村 丹波山の一部	1,372 国 0 公 1,372 私 0
	小計	3,557 国 0 公 3,536 私 21
長野県	南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 44林班、47林班、49林班、50林班、54林班、56林班及び58林班の各一部	273 国 273 公 0 私 0
	合 計	9,166 国 2,980 公 5,864 私 322

(表5：第1種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
両神山 かみ塗川左岸	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 75林班の全部	両神山の南西山腹は、チャートからなる特徴的な岩塊の連続する地形に、ブナ、ミズナラ、ヤシオツツジ等の落葉広葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。 中津川支流の神流川(荒川水系)左岸は、砂岩、粘板岩等からなる急峻な地形と、イヌブナ、コナラ等の落葉広葉樹林からなり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 144 (公) 144 (私) 0 (国) 38 (公) 38 (私) 0
なかつきよ峠 十文字峠	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 63林班の一部	岩壁の迫る中津峠の核心部では、イヌブナ、コナラ等の落葉広葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 107 (公) 107 (私) 0
あらかわげんりゅうぶ 荒川源流部	長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 44林班の一部	十文字峠の西側は、コメツガを中心とした亜高山性針葉樹林からなり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 19 (公) 19 (私) 0
じゅうじょうじとうげ 十丈峠	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 51林班から56林班まで及び60林班の各一部	荒川源流部一帯では、コメツガ等の亜高山性針葉樹林にブナ等の落葉広葉樹林を加えた針広混交の自然林が広がり、コケ類、シダ類の生育も旺盛で、本公司獨特の森林美を見せている。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 1,990 (公) 1,990 (私) 0
じゆじ 富士見 ひがしあずさ 東 奥千丈岳	山梨県山梨市 三富上釜口、三富川浦及び牧丘町北原塩平の各一部 長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 47林班、49林班及び50林班の各一部	甲武信ヶ岳から国師ヶ岳に至る稜線部及び国師ヶ岳周辺は、シラビソ、オオシラビソ、コメツガ等の亜高山性針葉樹林からなり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 248 (公) 57 (私) 191 (国) 0

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
ひがしきいこく 東沢溪谷 鶏冠山	山梨県山梨市 三富川浦の一部	甲武信ヶ岳に源を発する両岸絶壁の東沢渓谷（富士川水系）は、冬季には氷瀑となりクライマーに人気の乙女滝等、滝の連続する深山幽谷の秘境である。ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、見事な渓谷美を見せていく。一方、鶏冠山から甲武信ヶ岳に至る稜線は、コメツガ等の亜高山性針葉樹林が広がっている。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 301 公 0 私 301 0)
金峰山山腹	山梨県甲府市 御岳町の一部	金峰山の山腹一帯は、コメツガ等の亜高山性針葉樹に鬱蒼と覆われ、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 793 公 197 私 596 0)
にっぽらがわ 日原川	山梨県北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部		
長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 54林班、56林班及び58林班の各一部	長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 54林班、56林班及び58林班の各一部	多摩川支流の日原川源流部一帯は、高標高部ではコメツガ等の亞高山性針葉樹林が、低標高部ではブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がる。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 2,518 公 0 私 2,321 197)
しらいわやましまいわさん 白岩	埼玉県秩父市 大竜の一部	雲取山から北側に通ずる稜線沿いに位置し、主にコメツガ等の亞高山性針葉樹林が広がり、一部では石灰岩特有の植生も見られる。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 90 公 7 私 83 83)
雲取山西斜面	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 42林班から44林班までの各一部	雲取山西斜面は大洞川（荒川水系）源流部で、コメツガ等の亞高山性針葉樹林が広がる。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 428 公 428 0 0)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
ほんたにがわいこく 本谷川渓谷	山梨県北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	上流域に世界有数の放射能泉である増富温泉郷を擁する本谷川(富士川水系)の渓谷沿いは、ブナ、ミズナラ、カエデ類等の落葉広葉樹林からなり、新緑や紅葉の眺めが美しい。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 124 124 0 0
多摩リ源流部 七ツ石山から雲取山に至る山稜の一部	山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋の一部 山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部	多摩川本流の源流部一帯や七ツ石山から雲取山を経て笠取山に至る山稜の一部では、コメツガ、シラビソ等の垂高山性金葉樹林に、ブナ、ミズナラ、カエデ等の落葉広葉樹林を加えた針広混交の自然林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 1,510 0 1,510 0
乾徳山 黒金山	山梨県山梨市 三富上釜口及び三富徳和の各一部	乾徳山と黒金山の山頂に挟まれた乾徳山線歩道や黒金山線歩道の沿線は、コメツガ、シラビソ等の垂高山性金葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 127 0 127 0
鶴冠山	山梨県山梨市 塩山一之瀬高橋の一部	大菩薩嶺の北方に位置する鶴冠山の山頂付近では、ブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 59 0 59 0
御岳山	東京都青梅市 御岳山の一部	信仰の山として知られる御岳山の奥ノ院から緩広ノ滝(あやひろのたき)一帯は、ミズナラ、カエデ等の落葉広葉樹林からなり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 21 0 0 21
やなぐら渓谷	山梨県甲府市 上条町、黒平町、川窪町及び高町の各一部	サルの生息する野猿谷や板敷渓谷は、御岳昇仙峡の上流域に位置する深い渓谷で、板敷渓谷の大滝(いたじきがいこく)に代表される大小の滝からなる渓谷美と、ミズナラ、カエデ類等の落葉広葉樹林とが見事に調和している。優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 124 0 112 12

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大菩薩嶺	山梨県甲州市 塩山上林原林原山の一部	大菩薩嶺の山頂付近では、コメツガを主とした亜高山性針葉樹林 が、その下部にはブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	438 (国 0 公 438 私 0)
御岳昇仙峡	山梨県北都留郡小菅村 小菅第1の一部	御岳昇仙峡線車道沿線等では、常緑針葉樹のアカマツを中心として、 一部に良好なミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	87 (国 0 公 78 私 9)
	山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部		
	山梨県甲府市 猪狩町及び上滝那町の各一部		
	山梨県甲斐市 吉沢及び下福沢の各一部		
		合計	9,166 (国 2,980 公 5,864 私 322)

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都県名	区 域	面 積(ha)
埼玉県	秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 41林班及び61林班の全部並びに45林班から47林班まで、49林班、50林班、64-I林班及び67林班から70林班までの各一部 秩父市 大滝、中津川及び三峰の各一部	3,128 国 1,543 公 1,021 私 564
	秩父郡小鹿野町 両神薄の一部	436 国 0 公 0 私 436
	小計	3,564 国 1,543 公 1,021 私 1,000
東京都	青梅市 沢井一丁目、沢井二丁目、沢井三丁目、梅郷三丁目、梅郷五丁目、梅郷六丁目、日向和田三丁目、二俣尾一丁目、二俣尾二丁目、二俣尾三丁目、二俣尾四丁目、二俣尾五丁目、御岳山、御岳本町、御岳一丁目、御岳二丁目、柚木町一丁目、柚木町二丁目及び柚木町三丁目の各一部	315 国 72 公 0 私 243
	あきる野市 乙津及び養沢の各一部	112 国 0 公 17 私 95
	西多摩郡日の出町 大字大久野肝要・松尾・三ツ沢の一部	97 国 0 公 61 私 36
	西多摩郡檜原村 大嶽、数馬、神戸、倉掛、南郷、樋里、藤原及び人里の各一部	614 国 0 公 109 私 505
	西多摩郡奥多摩町 海沢、梅沢、大丹波、川井、川野、河内、小丹波、境、白丸、棚沢、丹三郎、留浦、日原、原及び冰川の各一部	3,796 国 129 公 2,837 私 830

都県名	区 域	面 積(ha)
	小計	4,934 国 201 公 3,024 私 1,709
山梨県	甲府市 猪狩町、川窪町、上帶那町、黒平町、高町、高成町、竹日向町及び御岳町の各一部	557 国 0 公 234 私 323
	山梨市 三富上釜口、三富川浦及び牧丘町北原塩平の各一部	2,979 国 0 公 2,055 私 924
	北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	1,235 国 0 公 893 私 342
	甲斐市 吉沢の一部	62 国 0 公 36 私 26
	甲州市 塩山一之瀬高橋及び塩山上萩原萩原山の各一部	1,566 国 0 公 1,566 私 0
	北都留郡小菅村 小菅第1の一部	150 国 0 公 150 私 0
	北都留郡丹波山村 鴨沢、丹波山、所畑及び保之瀬下の各一部	2,822 国 0 公 2,779 私 43
	小計	9,371 国 0 公 7,713 私 1,658

都県名	区 域	面 積(ha)
長野県	南佐久郡川上村 大字秋山の一部	61 (国 0 公 61 私 0)
	合 計	17,930 (国 1,744 公 11,819 私 4,367)

(表7：第2種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
両神山	埼玉県秩父郡小鹿野町 両神薄の一部	両神山は、古生代の硅石からなる。山頂は約50mにも及ぶ断崖の発達する特徴的な地形となつており、ブナ、ミズナラ、ヤシオツツジ等の落葉広葉樹林が広がる。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 659 (公) 0 (私) 223 436
神流川右岸	埼玉県秩父市 中津川の一部	中津川支流の神流川(荒川水系)右岸の中津川八丁崎線車道沿線では、砂岩、粘板岩等からなる急峻な地形に、コナラ、クリ等の落葉広葉樹林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 27 (公) 0 (私) 27 0
中津峡	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 64-I林班の一部	岩壁の迫る中津峡ではコナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 338 (公) 100 (私) 75 163
三峰 十文字峠	埼玉県秩父市 大滝及び中津川の各一部	三国山から十文字峠に至る稜線の東側には、コメツガ等の亜高山性針葉樹林に、ブナ、ダケカンバ等の落葉広葉樹林を加えた針広混交の自然林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 267 (公) 267 (私) 0 0
荒川源流部	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 61林班の全部	荒川源流部一帯は、ブナ等の落葉広葉樹林が広がり、優れた風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 1,049 (公) 353 (私) 696 0
三峰	埼玉県秩父市 大滝の一部	三峰は古い歴史と信仰の山で、また、雲取山への登山路のうち最も一般的なのが、三峰から雲取山に至る三峰雲取山線歩道である。植生は、三峰付近では良好なスギ、ヒノキ等の人工林が、霧ヶ峰周辺ではブナ等の落葉広葉樹林が広がる。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 191 (公) 0 (私) 0 191

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
おおちがわ 大血川源流部 白岩山東方稜線部	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 41林班の全部	とりだにやま 西谷山（天目山）から芋ノ木ドッケに至る稜線の北側は、大血川（荒川水系）の源流部にあたり、ブナ、ミズナラ、ダケカンバ等の落葉広葉樹林が広がる。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	390 180 210 (国 公 私)
瑞牆山山麓	埼玉県秩父市 大滝の一部	瑞牆山の北側及び南側山麓では、一部にカラマツ等の人工林が見られるものの、コメツガ等の亜高山性針葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	658 0 658 (国 公 私)
あずさがわ 梓川源流部	山梨県北杜市 須玉町小尾の一部	甲武信ヶ岳から国師ヶ岳に至る稜線の北西側の梓川源流部では、一部にカラマツの人工林を含むものの、主にコメツガ等の亜高山性針葉樹林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	61 0 61 (国 公 私)
甲武信ヶ岳山腹 国師ヶ岳山腹	長野県南佐久郡川上村 大字秋山の一部	甲武信ヶ岳から国師ヶ岳に至る稜線の南東側山腹では、コメツガ等の亜高山性針葉樹林に、ダケカンバ等の落葉広葉樹林を加えた針広混交の自然林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	969 0 969 (国 公 私)
はぶささん 破風山 雁坂峠 雁峠 西沢渓谷 なめらかさわ 久瀬沢	山梨県山梨市 三富上釜口及び三富川浦の各一部	笠取山から甲武信ヶ岳に至る山稜部の南西側では、コメツガ等の亜高山性針葉樹林に、ミズナラ、ブナ等の落葉広葉樹林を加えた針広混交の自然林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性が高い地区である。	1,929 0 1,005 924 (国 公 私)
大洞山（飛龍山） 北面 からまつおやま 唐松尾山北面	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 45林班から47林班まで、49林班及び50林班の各一部	大洞山（飛龍山）や唐松尾山の北面は、コメツガ、ブナ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	643 643 0 (国 公 私)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
おおたばがわ 大丹波川上流	東京都西多摩郡奥多摩町 大丹波の一部	日向沢ノ峰から棒ノ嶺に至る後線の南側一帯は、大丹波川（多摩川水系）上流部にあたり、首都圏自然歩道や川乗山線歩道が整備されている。一部にスギ、ヒノキ等の人工林が見られるものの、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	378 （国 0 公 378 私 0）
増富 本谷川	山梨県北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	増富温泉郷を含む本谷川流域一帯は、主としてミズナラ、コナラ、クリ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	577 （国 0 公 235 私 342）
にっぽらけいこく 日原 溪 谷 かわのりだに 川 畔 谷	東京都西多摩郡奥多摩町 棚沢、日原及び氷川の各一部	日原川（多摩川水系）とその支流の倉沢谷や川苔谷の一帯は、古里川苔山線歩道、氷川川苔山線歩道等が整備され、優れた渓谷美が見られる。一部にスギ、ヒノキ等の人工林が見られるものの、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	686 （国 28 公 433 私 225）
おおたばがわ 大 強 嶺	山梨県甲府市 御岳町の一部	大強嶺園地及び大弛峠宿舎利用計画地の周辺は、コメツガ等の垂直高山性針葉樹林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	44 （国 0 公 44 私 0）
金峰山山麓	山梨県山梨市 牧丘町北原塩平の一部	金峰山南面山麓の御室小屋休憩所計画地周辺は、コメツガ等の垂直高山性針葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	69 （国 0 公 69 私 0）
多摩川源流部	山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋の一部 山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部	ごおうこうだいり 牛王院平、唐松尾山、笠取山の南側山腹及び山麓の多摩川源流部一帯は、ミズナラ、イヌブナ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	1,431 （国 0 公 1,431 私 0）

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
日原鍾乳洞 稻村岩	東京都西多摩郡奥多摩町 日原の一部	石灰岩の岩壁、岩峰等の見られる日原鍾乳洞及び福村岩は、日原川(多摩川水系)上流部に位置する。周辺はブナ等の落葉広葉樹林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 52 0 0
鷹ノ巣山山腹 八丁山	東京都西多摩郡奥多摩町 境、留浦及び日原の各一部	日原川源流部にあたる鷹ノ巣山の北面、東面の山腹一帯及び八丁山では、ブナ等の落葉広葉樹林が広がる。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 1,148 0 0
雲取山南面	山梨県北都留郡丹波山村 小袖、丹波山及び所浦の各一部	雲取山南面一帯は多摩川源流部にあたり、イヌヅナ、ミズナラ、コナラ等の落葉広葉樹林が広がる。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 1,260 0 0
乾徳山 黒金山	山梨県山梨市 三富上釜口の一部	乾徳山や黒金山の山頂周辺は、コメツガ、シラビソ等の垂高山性金葉樹を中心とした自然林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 51 0 51 0
多摩川	東京都青梅市 沢井一丁目、沢井二丁目、沢井三丁目、梅郷三丁目、梅郷五丁目、梅郷六丁目、日向和田三丁目、二俣尾一丁目、二俣尾二丁目、二俣尾三丁目、二俣尾四丁目、二俣尾五丁目、御岳本町、御岳一丁目、御岳二丁目、柚木町二丁目、柚木町二丁目及び柚木町三丁目の各一部	多摩川では、御岳渓谷、鳩ノ巣渓谷及び冰川渓谷等の渓谷美が見られ、シラカシ、コナラ、クリ等の落葉広葉樹林とスギ、ヒノキ等の人工林が広がっている。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 313 144 0 169

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
鶏冠山 せんかんざん に 泉水谷	山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋の一部 山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部	鶏冠山の山腹や泉水谷一帯では、ブナ、イヌブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 1,550 公 0 私 0) 1,550
御岳山 おおたけさん 大岳山 おおたけさん のこぎりやま 鋸山 のこぎりやま 御前山 ごぜんやま	東京都青梅市 御岳山及び御岳二丁目の各一部 東京都あきる野市 養沢の一部 東京都西多摩郡日の出町 大字大久野野原・松尾・三ツ沢の各一部 東京都西多摩郡檜原村 大槻、神戸、倉掛及び藤原の各一部 東京都西多摩郡奥多摩町 海沢、河内、境及び冰川の各一部	御岳山から大岳山、鋸山、御前山、月後見山に至る御岳山三頭山線歩道沿線では、一部にスギ、ヒノキ等の人工林が見られるものの、ミズナラ、クリ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 678 公 0 私 124 554) 678
奥多摩湖	東京都西多摩郡奥多摩町 原の全部及び川野、河内、境及び留浦の各一部 山梨県北都留郡丹波山村 鳴沢、所畑及び保之瀬下の各一部	奥多摩湖は、昭和32年に小河内ダムにより堰き止められて出現した人造湖で、総貯水量は1億8,500万m ³ である。春には、1万本近いサクラが湖畔を彩り、周辺には小河内神社、普門寺、太子堂が静かなたたずまいを見せていている。良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 1,261 公 29 私 846 386) 1,261
野猿谷	山梨県甲府市 川篠町、上袋那町、黒平町及び高町の各一部	御岳昇仙峡の上流域に位置する野猿谷では、イヌブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 346 公 0 私 208 138) 346

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
かのどいわ 神戸岩	東京都西多摩郡檜原村 神戸の一部	岩峰の特徴的な神戸岩付近は、コナラ、クリ等の落葉広葉樹林とスギ、ヒノキ等の人工林の混交する森林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 34 0 0
御岳昇仙峡	山梨県甲府市 猪狩町、上带那町、高成町及び竹日向町の各一部 山梨県甲斐市 吉沢の一部	甲府増富線車道、羅漢寺園地等の周辺では、常緑金葉樹のアカマツを中心としてコナラ、クリ等の落葉広葉樹が混交する森林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 190 0 49
大菩薩峠東麓	山梨県北都留郡小菅村 小菅第1の一部	大菩薩峠東麓では、ミズナラ、イヌブナ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 150 0 150
三頭山山腹	東京都西多摩郡檜原村 数馬の一部	三頭山山麓は、ブナ、ツガ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 167 0 121
大菩薩嶺南麓	山梨県甲州市 塩山上秋原山山麓の一部	大菩薩嶺南麓の製石大苦薩時線歩道沿線の一帯は、主にブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 51 0 51
ながたけ 長岳	東京都あきる野市 乙津及び養沢の各一部	養沢川及び深川(多摩川水系)の合流地点の西側は、コナラ、クリ等の落葉広葉樹林とスギ、ヒノキ等の人工林の混交する森林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 公 私) 26 0 5

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
せんげんれい、 浅間嶺	東京都西多摩郡檜原村 南郷、樋里及び人里の各一部	浅間嶺は、ミズナラ等の落葉広葉樹林とカラマツ等の人工林の混交する森林からなり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 26 公 0 私 8) 18
笛吹峠	東京都西多摩郡檜原村 数馬及び人里の各一部	笛吹峠から檜寄山に至る稜線の北側には笛吹檜寄山線歩道が整備されている。一部にスギ、ヒノキ等の人工林が見られるものの、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、良好な風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 261 公 0 私 14) 247
合計			(国 17,930 公 1,744 私 11,819 4,367)

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都県名	区 域	面 積(ha)
埼玉県	秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 48林班及び65林班の全部並びに45林班から47林班まで、49林班及び50林班の各一部 秩父市 大滝、中津川及び三峰の各一部	4,652 国 1,440 公 1,761 私 1,451
東京都	青梅市 沢井三丁目、御岳山、御岳本町及び御岳二丁目の各一部	363 国 0 公 1 私 362
	あきる野市 養沢の一部	382 国 0 公 0 私 382
	西多摩郡日の出町 大字大久野肝要・松尾・三ツ沢の一部	70 国 0 公 28 私 42
	西多摩郡檜原村 大嶽、数馬、神戸、倉掛及び藤原の各一部	1,288 国 0 公 369 私 919
	西多摩郡奥多摩町 海沢、梅沢、大丹波、川野、河内、小丹波、境、棚沢、留浦、日原、原及び冰川の各一部	5,240 国 0 公 3,914 私 1,326
	小計	7,343 国 0 公 4,312 私 3,031
山梨県	甲府市内 国有林山梨森林管理事務所 1林班から3林班までの全部 甲府市 猪狩町、上帶那町、黒平町、下帶那町、草鹿沢町、高町、高成町、竹日向町、平瀬町及び御岳町の各一部	1,417 国 80 公 930 私 407

都県名	区 域	面 積(ha)
	山梨市 三富上釜口、三富川浦及び牧丘町北原塩平の各一部	3,433 国 0 公 3,292 私 141
	北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	687 国 0 公 687 私 0
	甲斐市 吉沢の一部	23 国 0 公 23 私 0
	甲州市 塩山一之瀬高橋及び塩山上萩原萩原山の各一部	1,601 国 0 公 1,478 私 123
	北都留郡小菅村 小菅第1の一部	799 国 0 公 799 私 0
	北都留郡丹波山村 丹波山の一部	1,898 国 0 公 1,838 私 60
	小計	9,858 国 80 公 9,047 私 731
長野県	南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 46林班、51林班、52林班、55林班及び59林班の全部並びに44林班、 45林班、47林班、49林班、50林班、53林班、54林班、56林班、58林 班、60林班及び63林班の各一部 南佐久郡川上村 大字秋山及び大字梓山の各一部	3,747 国 2,631 公 368 私 748

都県名	区 域	面 積(ha)
	合 計	25,600 国 4,151 公 15,488 私 5,961

(表9：第3種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
神流川左岸	埼玉県秩父市 中津川の一部	中津川の支流である神流川の左岸山手沿いは、良好なスギ、ヒノキ等の人工林を主とした森林からなり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 31 (公) 0 (私) 26 5
中津川上流	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 65林班の全部	白泰山の北西斜面の中津川上流部一帯は、カラマツ等の人工林を主とするものの、一部にイヌブナ等の落葉広葉樹林が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 881 (公) 197 (私) 659 25
千曲川源流部	埼玉県秩父市 中津川の一部	甲武信ヶ岳から三日山にかけての稜線西側一帯は千曲川源流部にあたり、カラマツ等の人工林を主とするものの、一部にシラカバ等の落葉広葉樹林が見られる。風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 1,814 (公) 816 (私) 998 0
たきざわ 滝	長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 46林班の全部並びに44林班、45林班及び47林班の各一部 長野県南佐久郡川上村 大字秋山及び大字卒山の各一部	奥秩父もみじ湖及びその周辺一帯は、良好なスギ、ヒノキ等の人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 288 (公) 288 (私) 0 0
ちちぶ 湖	埼玉県秩父市 大滝及び三峰の各一部	秩父湖及びその周辺一帯は、良好なスギ、ヒノキ等の人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 571 (公) 86 (私) 485

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
白石山	埼玉県秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 48林班の全部並びに45林班から47林班まで、49林班及び50林班の各一部	白石山は、荒川源流部の滝川と大洞川に挟まれた平坦な山頂を持つ独立峰で、カラマツ等の人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 928 公 1,086 私 548) 2,562
金峰山北面	埼玉県秩父市 大滝の一部 長野県南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 51林班、52林班、55林班及び59林班の全部並びに49林班、50林班、53林班、54林班、56林班、58林班、60林班及び63林班の各一部	金峰山から国師ヶ岳にかけての後継の北側山腹一帯は、カラマツ等の人工林を主とするものの、一部にコメツガ等の畠高山性落葉樹林が見られる。風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 1,816 公 117 私 0) 1,933
瑞牆山麓	長野県南佐久郡川上村 大字秋山の一部 山梨県北杜市 須玉町小尾の一部	瑞牆山の西側山麓一帯は、良好なカラマツの人工林を中心とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 0 公 575 私 0) 575
白岩山西面	埼玉県秩父市 大滝の一部	白岩山西面の大洞川上流部一帯は、スギ、ヒノキ、カラマツ等の人工林を主とするものの、一部でミズナラ等の落葉広葉樹が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 0 公 0 私 379) 379
笛吹川上流部	山梨県山梨市 三富上釜口及び三富川浦の各一部	広瀬湖西岸及び国道140号の雁坂トンネル坑口周辺一帯は、良好なスギ、ヒノキ、カラマツ等の人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 0 公 1,033 私 141) 1,174

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
日原川源流部 日原鐘乳洞 ウトウの頭	東京都西多摩郡奥多摩町 日原及び冰川の各一部	日原川上流域から源流部にかけての一帯は、スギ、ヒノキ等の人工林を主とするものの、一部にブナ等の落葉広葉樹林が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 2,342 (公) 0 (私) 2,294 48
金峰山山麓 国師ヶ岳山麓	山梨県甲府市 御岳町の一部 山梨県山梨市 三富上釜口及び牧丘町北原塩平の各一部 山梨県北杜市 須玉町比志の一部	金峰山及び国師ヶ岳山麓一帯は、良好なカラマツの人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 2,848 (公) 0 (私) 2,848 0
増富	山梨県北杜市 須玉町小尾の一部	増富温泉郷の北側は、良好なカラマツの人工林を主とした森林があり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 38 (公) 0 (私) 38 0
大丹波川上流 首都圈自然歩道 川苔山東面	東京都青梅市 沢井三丁目及び御岳本町の各一部 東京都西多摩郡奥多摩町 大丹波及び川井の各一部	川苔山北面の大丹波川(多摩川水系)上流域や東面一帯では、スギ、ヒノキ等の人工林を主とするものの、一部にブナ等の落葉広葉樹林が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 898 (公) 0 (私) 259 639
いちの瀬高原	山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋の一部	笠取山や青松尾山の南に広がる一ノ瀬高原一帯は、良好なカラマツの人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国) 938 (公) 0 (私) 814 124

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
丹波川 さんじょう 二条の湯周辺	山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部	丹波川（多摩川水系）北岸の山手添い一帯は、良好なスギ、ヒノキ等の人工林を主とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 1,283 公 0 私 345) 1,628
鳩ノ巣山南面	東京都西多摩郡奥多摩町 留浦の一部	奥多摩湖北岸の鷺ノ巣山南面の山腹一帯は、スギ、ヒノキの人工林を主とするものの、一部にブナ、ミズナラ等の落葉広葉樹林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 436 公 156 私 0) 592
鶏冠山	山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋の一部	鶏冠山北面及び南面の山腹一帯は、良好なカラマツ等の人工林を中心とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 350 公 350 私 0) 350
黒富士 つばめいわ 燕岩	山梨県甲府市 御岳町の一部	黒富士の北東斜面で燕岩脈を含む一帯は、カラマツ等の人工林を中心とするもの、一部にミズナラ等の落葉広葉樹林が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 260 公 0 私 260) 260
野猿谷	山梨県甲府市 御岳町の一部	野猿谷の両岸に広がる中津森一帯は、良好なカラマツの人工林を中心とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 400 公 30 私 0) 430

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
御岳山 大岳山 御前山 三頭山 月夜見山 ヌカザス山	東京都青梅市 御岳山及び御岳二丁目の各一部 東京都あきる野市 養沢の一部 東京都西多摩郡日出町 大字大久野原要・松尾・三ツ沢の一部 東京都西多摩郡檜原村 大轍、神戸、数馬、倉掛及び藤原の各一部 東京都西多摩郡奥多摩町 海沢、梅沢、川野、河内、小舟渡、境、原及び冰川の各一部	御岳山から三頭山にかけての稜線から南北に広がる山腹一帯は、スギ、ヒノキの人工林を主とするものの、一部でミズナラ等の落葉広葉樹林が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	3,511 (国 0 公 852 私 2,659)
金 櫻 神社	山梨県甲府市 御岳町の一部	古くは山岳信仰と密接の修験道の靈地とされていた金櫻神社周辺は、良好なスギ、ヒノキの人工林を中心とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	50 (国 0 公 0 私 50)
大菩薩嶺山麓	山梨県甲州市 塩山一之瀬高橋及び塩山上萩原萩原山の各一部 山梨県北都留郡小菅村 小菅第1の一部 山梨県北都留郡丹波山村 丹波山の一部	大菩薩嶺の山麓一帯は、良好なスギ、ヒノキ、カラマツ等の人工林を中心とした森林が広がり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	1,382 (国 0 公 1,382 私 0)
御岳昇仙峡	山梨県甲府市 猪狩町、上帝那町、高成町及び竹日向町の各一部 山梨県甲斐市 吉沢の一部	御岳昇仙峡の周辺は、良好なカラマツ等の人工林を中心とした森林からなり、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	41 (国 0 公 38 私 3)

名 称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
千代田湖 ちよだこ	山梨県甲府市内 国有林山梨森林管理事務所 1林班から3林班の全部 山梨県甲府市 下平瀬町及び平瀬町の各一部	御岳昇仙峡の入口にあたる千代田湖周辺は、カラマツの人工林を主とするものの、一部にミズナラ等の落葉広葉樹林が見られ、風致の維持を図る必要性の高い地区である。	(国 144 公 80 私 0) 144
		合計	(国 25,600 公 4,151 私 15,488) 25,600
			(国 5,961 公 0 私 64) 5,961

イ 関連事項

(ア) 採取等規制植物
採取又は損傷を規制する植物を次のとおりとする。

(表10：採取等規制植物表)

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
ヒカゲノカズラ イワヒバ トクサ ハナヤスリ ゼンマイ コケシノブ	<i>Huperzia miyoshiana</i> (ヒメスギラン)、 <i>Lycopodiella inundata</i> (ヤチスギラン)、 <i>Lycopodium complanatum</i> (アスピカズラ)、 <i>Lycopodium obscurum</i> (マンネンスギ (ウチワマンネンスギ)、タチマンネンスギ))、 <i>Phlegmariaurus cryptomerinus</i> (スギラン) <i>Selaginella shakotanensis</i> (ヒモカズラ)、 <i>Selaginella tamamontana</i> (ヤマクラマゴケ)、 <i>Selaginella tanairiscina</i> (イワヒバ) <i>Equisetum hyemale subsp. <i>hyemale</i></i> (トクサ (エダウチトクサ、ハマドクサ、ハマトクサ、フリトリクサ)) <i>Botrychium lunaria</i> (ヒメハナワラビ (ヘビノシタ))、 <i>Botrychium multifidum</i> var. <i>multifidum</i> (ヤマハナワラビ) <i>Osmunda claytoniana</i> (オニゼンマイ)、 <i>Osmunda lancea</i> (ヤシヤゼンマイ (オクノヤシヤゼンマイ))、 <i>Osmunda x intermedia</i> (オオバヤシヤゼンマイ (オクタマゼンマイ)) <i>Crepidomanes schmidianum</i> var. <i>schmidianum</i> (チチブホラゴケ)、 <i>Hymenophyllum oligosorum</i> (キヨスミコケシノブ)
サンショウモ イノモトソウ コバノイシカグマ ナヨシダ チャセシシダ イワデンシダ シンガシラ メシダ ヒメシダ キシモウラビ オシダ	<i>Salvinia natans</i> (サンショウモ) <i>Cheilanthes brandtii</i> (ヒメウラジロ)、 <i>Cheilanthes argentea</i> (ミヤマウラジロ (アオミヤマウラジロ)、アオジクミヤマウラジロ))、 <i>Haplopterus flexuosa</i> (シシラン (ツノマタシシラン、シジシシラン、イツキシシラン))、 <i>Haplopterus fuscanoi</i> (ナカミシシラン (ミヤマシシラン)) <i>Dennstaedtia wilfordii</i> (オウレンシシダ)、 <i>Monachosorum maximowiczii</i> (フジシダ) <i>Acytopteris japonica</i> (ウスヒメワラビ)、 <i>Cystopteris fragilis</i> (ナヨシダ)、 <i>Cystopteris sudetica</i> var. <i>sudetica</i> (ヤマヒメワラビ)、 <i>Gymnocarpium dryopteris</i> (ウサギシダ (アオキガハラウサギシダ))、 <i>Gymnocarpium robertianum</i> (イワウサギシダ)、 <i>Gymnocarpium oyamense</i> (エビラシダ) <i>Asplenium capillipes</i> (ヒメイワトラノオ)、 <i>Asplenium pseudowillmottiae</i> (オクタマシダ (アオガネシダモドキ))、 <i>Asplenium ruprechtii</i> (クロノスシダ)、 <i>Asplenium nuttallii</i> (イチヨウシダ)、 <i>Asplenium viride</i> (アオチャヤセンシダ)、 <i>Asplenium x kitazawai</i> (イセザキトラノオ (イセザキトラノオ)) <i>Woodsia glabella</i> (トガクシシダ (ケンザンシダ))、 <i>Woodsia macrochaena</i> (コガネシダ (ジョウシュウコガネシダ)) <i>Woodwardia orientalis</i> (コモチシダ) <i>Athyrium atkinsonii</i> (テバコワラビ)、 <i>Athyrium imbricatum</i> (ミヤコイヌワラビ (バンドイヌワラビ))、 <i>Athyrium melanolepis</i> (ミヤママメシダ)、 <i>Athyrium nikkoense</i> (イワイヌワラビ)、 <i>Athyrium spinulosum</i> (カラフトミヤマシダ (ミヤマイヌワラビ))、 <i>Athyrium crenulatum</i> (イッポンワラビ (オオミヤマイヌワラビ))、 <i>Diploazium sibiricum</i> var. <i>sibiricum</i> (キタノミヤマシダ) <i>Phegopteris bicknellii</i> (タチヒメワラビ)、 <i>Thelypteris niponica</i> var. <i>borealis</i> (メニッコワシタ (ケヒメシダ))、 <i>Thelypteris quepaertensis</i> (オオハシヨリマ) マ (ヤクシマシヨリマ)) <i>Hypodematum crenatum</i> subsp. <i>fauriei</i> (キンモウワラビ (オオハシヨンモウワラビ))
ヒシモウラビ ヒメシダ キシモウラビ オシダ	<i>Cyrtomium caryotideum</i> (メヤブソテツ (イロヤブソテツ))、 <i>Dryopteris amurensis</i> (オクヤマシダ)、 <i>Dryopteris fusipes</i> (マルバベニシダ (マルバベニシダ)、オオマルバベニシダ))、 <i>Dryopteris maximowiczii</i> (ナンタイシダ (ヤマシノブ))、 <i>Polystichum igense</i> (チャボイノテ)、 <i>Polystichum capillipes</i> (イナデンシダ)、 <i>Polystichum makinoi</i> (カタイノテ)、 <i>Polystichum ohnumae</i> (トヨグチイノテ)、 <i>Polystichum mayebarae</i> (オオキヨズミシダ (オオキヨスミシダ))、 <i>Polystichum tsusimense</i> var. <i>tsusimense</i> (ヒメカラワラビ (キヨズミシダ))、 <i>Polystichum x inzense</i> (カタイノテモドキ)、 <i>Polystichum x kurokawae</i> (アカメイノテ)、 <i>Polystichum x mashikoi</i> (アマギイノテ)、 <i>Polystichum x namegatae</i> (ミツイシイノテ)、 <i>Polystichum x ongeaense</i> (オングタイノテ)、 <i>Polystichum x titubense</i> (チチイノテ) <i>Goniophlebium sonoyae</i> (ミヨウギシダ (アワミヨウギシダ))、 <i>Lepisorus annulifrons</i> (ホテイシダ)、 <i>Lepisorus duckouxi</i> (サジラン (ウスイ

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
タツノイチジク科 ヒノキ マツブサ ウマノスズクサ モクレン クスノキ サトイモ チシマゼキショウ シユロソウ ユリ ラン	<p>タ))、<i>Loxogramme grammnitoides</i> (ヒメサジラソ)、<i>Microlycopodium okuboi</i> (オクボシダ (ムカデシダ))、<i>Neolepisorus ensatus</i> (クリハラソ (イズクリハラン)、ツノダシクリハラン、ヒロハクリハラン、ハゴロモクリハラン))、<i>Pleumosoriopsis makinoi</i> (カラクサシダ)、<i>Poly podium fauriei</i> (オシヤグジシダ (オシヤゴジシダ))、<i>Pyrosia hastata</i> (イワオモダカ)、<i>Pyrosia linearifolia</i> (ビロードシダ (ビロウドシダ)、タイワンビロードシダ))、<i>Pyrosia lingua</i> (ヒトツバ (エボシヒトツバ、ハゴロモヒトツバ、フイリヒトツバ、ヒロハヒトツバ))、<i>Selliguea veitchii</i> (ミヤマウラボシ)</p> <p><i>Picea maximowiczii</i> (ヒメバラモミ)、<i>Picea maximinoviczvar. senanensis</i> (アズサバラモミ)、<i>Pinus pumila</i> (ハイマツ)</p> <p><i>Juniperus communisvar. hondensis</i> (ホンドミヤマネズ)、<i>Juniperus chinensisvar. sargentii</i> (ミヤマビヤクシン (シンパク))</p> <p><i>Schisandra chinensis</i> (チョウセソゴミシ)</p> <p><i>Asarum caulescens</i> (フタバアオイ (カモアオイ))、<i>Asarum nipponicum</i> var. <i>nipponicum</i> (カシアオイ (カントウカンアオイ、カントウカンアオイ))、<i>Asarum sieboldii</i> (ウスバサイシン (サイシン、カリウスバサイシン))</p> <p><i>Magnolia sieboldii</i> subsp. <i>jeponica</i> (オオヤマレンゲ)</p> <p><i>Lindera seacea</i> var. <i>glaberrata</i> (ウスゲクロモジ (ミヤマクロモジ))、<i>Lindera triloba</i> (シロモジ)</p> <p><i>Arisaema limbatum</i> (ミミガタテンナンショウ (オキノシマテンナンショウ))、<i>Arisaema solenochlamys</i> (ヤマジノテンナンショウ)、<i>Symplocarpus renifolius</i> (ザゼンソウ)</p> <p><i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>coccinea</i> (チシマゼキショウ (クロミノイワゼキショウ、クロミゼキショウ))、<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>gracilis</i> (ハコネハナゼキショウ (ミヤマゼキショウ、チャボゼキショウ))、<i>Tofieldia coccinea</i> var. <i>kondoai</i> (チャボゼキショウ (アボイゼキショウ))</p> <p><i>Helonias orientalis</i> (ショウジョウバカマ)、<i>Paris verticillata</i> (クルマバツクバネソウ)、<i>Trillium apetalon</i> (エンレイソウ)、<i>Veratrum stamineum</i> var. <i>stamineum</i> (コバイケイソウ (コバイケイソウ))</p> <p><i>Amana edulis</i> (アマナ)、<i>Anana erythronioides</i> (ヒロハノアマナ)、<i>Erythronium japonicum</i> (カタクリ (カタカゴ))、<i>Gagea lutea</i> (キハビナノアマナ (キハバナアマナ))、<i>Lilium callosum</i> (ノヒメユリ (スゲユリ))、<i>Lilium leichhardtii f. pseudotigrinum</i> (コオニユリ)、<i>Lilium maculatum</i> var. <i>bukosanense</i> (ミヤマスカシユリ)、<i>Lilium medeoloides</i> var. <i>medeoloides</i> (クルマクラマユリ)、ホソバクルマユリ、タガイハクルマユリ))、<i>Streptopus amplexifolius</i> var. <i>papillatus</i> (オオバタケシマラン)、<i>Tricyrtis hirta</i> var. <i>hirta</i> (ホトギス)、<i>Thelypteris latifolia</i> var. <i>latifolia</i> (タマガワホトギス (ニッコウホトギス))</p> <p><i>Androcorys pusilla</i> (ミスズラン (ニイタカムカゴソウ))、<i>Bulbophyllum dymeglossum</i> (マツヅラソウ)、<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> (ムギラン)、<i>Calanthe alpina</i> var. <i>schlechteri</i> (キソエビネ (フサエビネ))、<i>Calanthe discolor</i> var. <i>discolor</i> (エビネ)、<i>Calanthe longibracteata</i> (ギンラン)、<i>Cephalanthera erecta</i> var. <i>erecta</i> (ギンラン)、<i>Cephalanthera longibracteata</i> (ササハギンラン)、<i>Cephalanthera goeringii</i> var. <i>goeringii</i> (シユンラン)、<i>Cephalanthera falcata</i> (キンラン)、<i>Cymbidium speciosum</i> (ホテイラン)、<i>Cypripedium japonicum</i> (クマガイソウ (クマガエソウ))、<i>Cypripedium yatabeanum</i> (キバナノツモリソウ)、<i>Cypripedium debile</i> (モイワラン)、<i>Cypripedium appendiculata</i> var. <i>variegatum</i> (サイハイラン)、<i>Cypripedium goeringii</i> var. <i>goeringii</i> (シユンラン)、<i>Cypripedium japonicum</i> (クマガイソウ)、<i>Cypripedium schmidti</i> (コイチヨウラン)、<i>Dactylorhiza viridis</i> (アオドリ (ネムロチドリ)、タカネアオドリ)、<i>Dactylorhiza aristata</i> (ハクサンチドリ)、<i>Dactylorhiza viridis</i> (セッコク (セキコク))、<i>Dendrobium moniliforme</i> (セツマエソウ)、<i>Epipactis papillosa</i> var. <i>papillosa</i> (エゾスズラン (アオスズラン))、<i>Epipactis thunbergii</i> (カキラン (スズラン))、<i>Epipogium aphyllum</i> (トラキチラン)、<i>Galeaxis creclicola</i> (カモメラン (カモメソウ)、イチヨウウチドリ))、<i>Gastrothilus matsurana</i> (マツラン (ベニカヤラン))、<i>Gastrothilus elatior</i> var. <i>elatior</i> (オニノヤガラ)、<i>Gastropodium pendula</i> (ツリシユスラン)、<i>Goodyera repens</i> (ヒメミヤマウズラ)、<i>Goodyera schlechtendaliana</i> (ミヤマウズラ)、<i>Gymnadenia conopsea</i> (テガタチドリ (チドリソウ))、<i>Hermannia lanceum</i> (ムカゴソウ)、<i>Lecanorchis japonica</i> (ムヨウラン)、<i>Liparis japonica</i> (セイタカスムシソウ (セイタカスムシ))、<i>Liparis</i></p>

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
	<i>krameri</i> var. <i>krameri</i> (ジガハヂソウ)、 <i>Liparis kumokiri</i> (クモキリソウ)、 <i>Liparis makinoana</i> (スズムシソウ (スズムシラン))、 <i>Malexis monophyllos</i> (ホザキイチヨウラン (ホザキフタバラン))、 <i>Myrmecis japonica</i> (アリドオシラン)、 <i>Neolindleya camtschatica</i> (ノビネチドリ)、 <i>Neottia acuminata</i> (ヒメムヨウラン (コムヨウラン))、 <i>Neottia cordata</i> (コフタバラン (フタバラン))、 <i>Neottia makinoana</i> (アオフタバラン)、 <i>Neottia nipponica</i> (ミヤマフタバラン)、 <i>Neottia papilligera</i> (サカネラン)、 <i>Neottia puberula</i> (タカネフタバラン)、 <i>Neottianthe cucullata</i> (ミヤマモジヅリ)、 <i>Oberonia japonica</i> (ヨウラクラン)、 <i>Oreorchis paetens</i> (コケラン (ヒメコケイラン))、 <i>Platanthera chlorisana</i> (タカネトシボ)、 <i>Platanthera florentii</i> (ジンバイスソウ)、 <i>Platanthera holochlora</i> (ミズチドリ (ジヤコウチドリ))、 <i>Platanthera hordensis</i> (オオバナオオヤマサギソウ)、 <i>Platanthera inumae</i> (イイヌマムカゴ)、 <i>Platanthera japonica</i> (ツレサギソウ)、 <i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>mandarinorum</i> var. <i>oreades</i> (ヤマギソウ)、 <i>Platanthera mandarinorum</i> subsp. <i>maximowicziana</i> (タカネサギソウ)、 <i>Platanthera minor</i> var. <i>minor</i> (ヤマトンボ (オオバノトンボ) ヴ、ノヤマトンボソウ、タワイソウヤマトンボ)、 <i>Platanthera ophrydioides f. australis</i> (ナガバノキソチドリ (ナガバキソチドリ))、 <i>Platanthera sachalinensis</i> (オオヤマサギソウ (キライシュチドリ))、 <i>Platanthera takedae</i> subsp. <i>takedae</i> (ミヤマチドリ (ニッコウチドリ))、 <i>Platanthera tipuloides</i> subsp. <i>tipuloides</i> var. <i>sororia</i> (ホソバノキソチドリ (ツブラトンボソウ))、 <i>Platanthera ussuriensis</i> (トンボソウ (コトンボソウ))、 <i>Polygonia japonica</i> (トキソウ)、 <i>Polygonia minor</i> (ヤマトキソウ)、 <i>Ponerorchis grammifolia</i> var. <i>grammifolia</i> (ウチヨウラン)、 <i>Panorchis joocikiana</i> (ニヨホウチドリ)、 <i>Taenioderum glandulosum</i> (クモラン)、 <i>Thrixspermum japonicum</i> (カヤラン)、 <i>Tipularia japonica</i> (ヒツボクロ)、 <i>Yoania amagiensis</i> (キハナノショウキラン)、 <i>Yoania japonica</i> (ショウキラン)
アヤメ ワスレグサ	<i>Iris domestica</i> (ヒオウギ)、 <i>Iris ensata</i> var. <i>spontanea</i> (ハナショウブ)、 <i>Iris gracilipes</i> (ヒメシャガ) ヘンタイカ、センダイカンゾウ)
ヒガソバ クサスギカズラ	<i>Allium inutile</i> (ステゴビル)、 <i>Allium schoenoprasum</i> var. <i>orientale</i> (シロウマアツキ (シベリアラッキヨウ))、 <i>Allium splendens</i> (ミヤマラッキヨウ)、 <i>Allium thunbergii</i> (ヤマラッキヨウ)、 <i>Allium victorialis</i> subsp. <i>platyphyllum</i> (ギョウジャニンニク (ギョウジャノニンニク、アイヌネギ))、 <i>Lycoris sanguinea</i> var. <i>kiushiana</i> (オオキツネノカミソリ)、 <i>Convallaria majalis</i> var. <i>manshurica</i> (スズラン (キミカゲソウ))、 <i>Maianthemum robustum</i> (ハルナユキザサ)、 <i>Polygonatum involucratum</i> (ワニグチソウ)、 <i>Polygonatum macranthum</i> (オオナルコユリ (オオバオウセイ、ヤマナルコユリ、オニナルコユリ))、 <i>Polygonatum x desoulayi</i> (コウライワニソウ)
ホシクサ イグサ	<i>Eriocaulon cincinnum</i> (ホシクサ)、 <i>Eriocaulon decemflorum</i> (イトヌノヒゲ (コイヌノヒゲ)) <i>Juncus maximowiczii</i> (イトイ)、 <i>Juncus triglochis</i> (タカネイ (シロウマゼキショウ))
カヤツリグサ	<i>Carex austrofinowiczii</i> var. <i>austrofinowiczii</i> (ヒラギシスゲ (エゾアゼスゲ))、 <i>Carex blepharicarpa</i> (シヨウジョウスゲ (タカネシヨウジ)) ヨウスゲ)、 <i>Carex eltorum</i> (ヤマオオイトスケ)、 <i>Carex curvirostra</i> (ナルコスケ)、 <i>Carex grallatoria</i> var. <i>grallatoria</i> (ヒナガリヤス)、 <i>Carex heterodita</i> (サンギスケ)、 <i>Carex latissima</i> (ハタベスケ)、 <i>Carex longirostrata</i> var. <i>longirostrata</i> (ヒエスケ (マツマエスケ))、 <i>Carex otaruensis</i> (オタルスケ (ヒメテキリスケ))、 <i>Carex planiculmis</i> var. <i>urasawae</i> (チチブシラスケ)、 <i>Carex stenantha</i> (イワスケ)、 <i>Kobresia myosuroides</i> (ヒゲハリスケ)
イネ	<i>Agrostis flaccida</i> (ミヤマヌカボ (ヒメコメススキ))、 <i>Agrostis mertensii</i> (コミヤマヌカボ)、 <i>Anthoxanthum horsfieldii</i> var. <i>japonicum</i> (タカネコウボウ (イシヅチコウボウ))、 <i>Anthoxanthum monticola</i> subsp. <i>alpinum</i> (ミヤマコウボウ (ワシベツミヤマコウボウ))、 <i>Brachyelytrum japonicum</i> (コウヤササ)、 <i>Calamagrostis nana</i> subsp. <i>nana</i> (ヒナガリヤス (ヒナノガリヤス))、 <i>Deschampsia flexuosa</i> (コメススキ (アオコメススキ))、 <i>Elymus nipponicus</i> (エゾカモジグサ)、 <i>Miscanthus oligostachys</i> (カリヤスモドキ)、 <i>Poa malacantha</i> var. <i>shinanoana</i> (ミヤマイチゴツナギ (タカネイチゴツナギ))、 <i>Poa nemoralis</i> (タチイチゴツナギ)、 <i>Schizachne purpurascens</i> subsp. <i>callosa</i> (フオーリガヤ)、 <i>Sporobolus fertilis</i> var. <i>fertilis</i> (ネズミノオ)、 <i>Stipa coreana</i> var. <i>japonica</i> (ヒロハノハネガヤ)

科名	種名（ミズゴケ科の植物においては属名）	
ケシ メリギ	<i>Corydalis rumicifolia</i> subsp. <i>azurea</i> (エゾエンゴサク))、 <i>Corydalis ochotensis</i> (ツルキケマン (ツルケマン))、 <i>Corydalis raddeana</i> (ナガミノツルキケマン (ナガミノツルケマン))、 <i>Hylomecon japonica</i> (ヤマブキソウ (タリクリヤマブキソウ))、 <i>Pteridophyllum racemosum</i> (オサハヅサ)	
ツツラフジ メギ	<i>Menispermum dauricum f. pilosum</i> (コウモリカズラ)	
キンポウゲ ソウ	<i>Berberis amurensis</i> (ヒロハヘビノボラズ (ヒロハヘビノボラズ、オオバノヘビノボラズ、タイリクヘビノボラズ)) <i>Aconitum jinumae</i> (オオレイジンソウ)、 <i>Aconitum locyanum</i> (レイジンソウ)、 <i>Aconitum micranthum</i> (キタザワブシ (サクライ)) <i>Aconitum pterocaul var. pterocaul var. senanense</i> (ホソバトリカブト)、 <i>Aconitum pseudoaltaica</i> (レイヨドシヨウ (エダウチフクシユソウ))、 <i>Anemone narcissiflora</i> subsp. <i>nipponica</i> (ハクサンイチゲ)、 <i>Anemone asiatica</i> (レイヨドシヨウ (エダウチフクシユソウ))、 <i>Anemone pseudoaltaica</i> (キクザキイチゲ (キクザキイチゲンソウ)、ハナガサイチゲ、ヤエノキクザキイチゲ、ピップイチゲ、クルマザキクザキイチゲ))、 <i>Anemone raddeana</i> (アズマイチゲ (シラゲカラベニイチゲ、オクノアズマイチゲ))、 <i>Anemone stolonifera</i> (サンシンソウ)、 <i>Anemone macrophylla</i> (レンゲソウ (エマオダマキ))、 <i>Cimicifuga japonica</i> var. <i>peltata</i> (キケンショウ (カマキリソウ))、 <i>Anemone macrophylla</i> (レンゲソウ (エマオダマキ))、 <i>Aquilegia buergeriana</i> var. <i>buergeriana</i> (ヤマハシソウ (カタバミオウレン))、 <i>Clematis chinensis</i> var. <i>fujisanensis</i> (フジゼンニンソウ (ツクシセンニンソウ))、 <i>Clematis alpina</i> subsp. <i>ochotensis</i> var. <i>fusijamana</i> (ミヤマハシソウ (カタバミオウレン))、 <i>Coptis lactescens</i> (ウスギオウレン)、 <i>Coptis quinquefolia</i> (トリガタハシソウ (アズマハシソウ))、 <i>Dichocarpum trachyspermum</i> (トウゴクサバノオ (ハイカオウレン (ゴカヨウオウレン))、 <i>Coptis trifolia</i> (ミツバオウレン (カタバミオウレン))、 <i>Eremion raddeanum</i> (チヂブシロカネソウ (オオシロカネソウ))、 <i>Eranthis pinnatifida</i> (セツブンソウ)、 <i>Pulsatilla cernua</i> (オキナグサ)、 <i>Ranunculus acris</i> var. <i>nipponicus</i> (ミヤマキンポウゲ (ケナシミヤマキンポウゲ、コリンキンポウゲ))、 <i>Ranunculus japonicus</i> var. <i>akagensis</i> (アカギキンポウゲ)、 <i>Thalictrum actaeoides</i> (シギンカラマツ)、 <i>Thalictrum aquilegiifolium</i> var. <i>sibiricum</i> (マンセンカラマツ)、 <i>Thalictrum baicalense</i> (ハルカラマツ (ニッコウカラマツ))、 <i>Thalictrum minus</i> var. <i>minus</i> var. <i>chiophyllum</i> (ミヨウギカラマツ)、 <i>Thalictrum minus</i> var. <i>kemense</i> (オオカラマツ (コカラマツ、ウスババカラマツ))、 <i>Thalictrum simplex</i> var. <i>brevipes</i> (ノカラマツ)、 <i>Thalictrum tuberosum</i> var. <i>tuberiferum</i> (ミヤマカラマツ (ケミヤマカラマツ))、 <i>Trautvetteria carolinensis</i> var. <i>japonica</i> (モジカラマツ)、 <i>Trollius hondensis Nakai</i> (キンバイソウ (キリガミネキンバイソウ))、 <i>Trollius japonicus</i> (シナノキンバイ)	
ツゲ ボタン マンサク	<i>Buxus microphylla</i> var. <i>japonica</i> (ツゲ (アサマツゲ、コツゲ)) <i>Paonia japonica</i> (ヤマシャクヤク (オオバマンサク))、 <i>Paonia oborata</i> (ベニバナヤマシャクヤク)	
スグリ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>megalophylla</i> (オオバマンサク)	
ユキノシタ ベンケイソウ	<i>Ribes ambiguum</i> var. <i>ambiguum</i> (ヤシヤビシヤク (ヨウセナリコミ))、 <i>Ribes fasciculatum</i> var. <i>fasciculatum</i> (ヤブサンザシ)、 <i>Ribes maximowiczianum</i> (ザリコミ (ヨウセナリコミ))、 <i>Ribes stranum</i> (スグリ) <i>Astilbe formosa</i> (ハナチダケサシ (ミヤマチダケサシ))、 <i>Astilbe japonica</i> (アワモリショウ (アワモリソウ))、 <i>Chrysosplenium album</i> var. <i>stamineum</i> (ハナネコノメ)、 <i>Chrysosplenium flagelliferum</i> (ツルネコノメソウ (ヒメネコノメソウ))、 <i>Chrysosplenium kamtschaticum</i> (チシマネコノメソウ)、 <i>Chrysosplenium kiotense</i> (ボタンネコノメソウ)、 <i>Chrysosplenium macrostemon</i> var. <i>macrostemon</i> (イワボタン (ミヤマネコノメソウ))、 <i>Mitella pauciflora</i> (コチャルメルソウ)、 <i>Peltoboykinia tellinoides</i> (ヤワタソウ)、 <i>Saxifraga cortusifolia</i> var. <i>cortusifolia</i> (ジンジソウ)、 <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>mutabilis</i> (ダイモジソウ (ミヤマダイモジソウ)、トウホクダイモジソウ、タケシマダイモジソウ)、 <i>Saxifraga fortunei</i> var. <i>obtusocuneata</i> (ウチワダイモジソウ)、 <i>Saxifraga fusca</i> subsp. <i>kikutubuki</i> (クロクモソウ (キクブキ)、イワブキ)、 <i>Tanakaea radicans</i> (イワユキノシタ (ヤマユキノシタ)) <i>Sedum shinmizutianum</i> (チチブベンケイ)、 <i>Hyrolephium verticillatum</i> var. <i>verticillatum</i> (ミツバベンケイ)、 <i>Hyrolephium viride</i> (オオベンケイ (アオベンケイ))、 <i>Orostachys japonica</i> (ツメレンゲ (ヒロハツメレンゲ、ヒロハイワレンゲ))、 <i>Rhodiola rosea</i> (イワキリソウ、ナ	

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
マメ	ガバノイワベンケイ、イワベンケイソウ）、 <i>Sedum hakonense</i> (マツノハマンネングサ)、 <i>Sedum subtile</i> (ヒメレンドゲ (コマンネンソウ))
ヒメハギ	<i>Crotalaria sessiliflora</i> (タヌキマメ)、 <i>Hedysarum vicioides</i> subsp. <i>japonicum</i> var. <i>japonicum</i> (イワオウギ (タテヤマオウギ))、 <i>Lathyrus quinquerius amurensis</i> (レンリソウ (カマキリソウ))、 <i>Lespedeza buergeri</i> f. <i>angustifolia</i> (タチゲキハギ (ホソバキハギ))、 <i>Lespedeza tomentosa</i> (イヌハギ)、 <i>Vicia amurensis</i> (ハラクサフジ (コノハラクサフジ))
バラ	<i>Polygonatum tatarinowii</i> (ヒナノキンチャク)
イクラサ	<i>Agrimonia coreana</i> (チョウセンキンミズヒキ (トカチキンミズヒキ))、 <i>Filipendula multiflora</i> var. <i>ciliata</i> (アカバナシモツケソウ (アカバナシモツケソウ))、 <i>Filipendula multiflora</i> var. <i>nipponicum</i> (ミヤマダイコソウ)、 <i>Geum caitellifolium</i> var. <i>nipponicum</i> (エキソバ (エキソバソウ))、 <i>Potentilla caitellifolia</i> var. <i>dickinsii</i> (イワキンハイ (アツバイワキンハイ))、 <i>Potentilla caitellifolia</i> var. <i>mandshurica</i> (ギンロハイ (ハクロハイ))、 <i>Potentilla matsumurae</i> var. <i>matsumurae</i> (ミヤマキンハイ)、 <i>Prunus incisa</i> var. <i>bukosanensis</i> (ブコウタカネザクラ (ブコウタカネザクラ))、 <i>Prunus spinulosa</i> (リンボク)、 <i>Rhus ussuriana</i> var. <i>hondoensis</i> (アオナシ)、 <i>Rosa rugosa</i> (フジイバラ)、 <i>Rosa nipponensis</i> (タカネバラ (タカネイバラ))、 <i>Rubus pseudoaceras</i> (ミヤマモミジイチゴ)、 <i>Rubus pungens</i> var. <i>oldhamii</i> (サナギイチゴ)、 <i>Sanguisorba officinalis</i> (ワレモコウ (エゾワレモコウ))、 <i>Spiraea chamaedryfolia</i> var. <i>pilosa</i> (アイヌシモツケ (アイヌシモツケ))、 <i>Spiraea nipponica</i> f. <i>notundifolia</i> (マルハイワシモツケ)、 <i>Spiraea nipponica</i> var. <i>nipponica</i> (イワシモツケ)
カバノキ	<i>Elaeagnus matsuana</i> (ハコネグミ)
カタバミ	<i>Berchemia pauciflora</i> (ミヤマクマヤナギ)、 <i>Berchemiella berchemiifolia</i> (ヨコグラノキ (エイノキ))、 <i>Rhamnus costata</i> (クロカシナバ)、 <i>Rhamnus davurica</i> var. <i>nipponica</i> (クロツヅラ)、 <i>Rhamnus japonica</i> var. <i>microphylla</i> (コバノクロウメモドキ)
ニシキギ	<i>Parietaria micrantha</i> var. <i>micrantha</i> (ヒカゲミズ)
トウダイグサ	<i>Betula chichibuensis</i> (チチブミネバリ)、 <i>Betula davuricavar. davurica</i> (ヤエガワカシナバ (コオノオレ))、 <i>Betula ermanii</i> var. <i>subcordata</i> (アカガシナバ (ナシタイカシナバ))
ヤナギ	<i>Parnassia alpina</i> (ヒメウメバチソウ (タカネウメバチソウ))、 <i>Parnassia foliosa</i> var. <i>foliosa</i> (シラヒゲソウ)、 <i>Parnassia palustris</i> var. <i>palustris</i> (ウメバチソウ (エゾウメバチソウ))
オトギリソウ	<i>Oxalis obtriangularata</i> (オオヤマカタバミ (オオミヤマカタバミ))
スミレ	<i>Euphorbia adenochlora</i> (ノウルシ)、 <i>Euphorbia ebracteolata</i> (マルミニノウルシ (ベニタイゲキ)、ベニダイゲキ))、 <i>Euphorbia sinensis</i> (チチブヤナギ)、 <i>Salix shiraii</i> var. <i>shiraii</i> (シライヤナギ)
オトギリソウ	<i>Salix rupifraga</i> (コママイワヤナギ (イワヤナギ、カイノイワヤナギ))、 <i>Salix shiraii</i> var. <i>kenensis</i> (チチブヤナギ)、 <i>Salix shiraii</i> var. <i>shiraii</i> (シライヤナギ)
オトギリソウ	<i>Viola biflora</i> var. <i>biflora</i> (キバナノコマノソツメ (ケタカネスミレ))、 <i>Viola blandiformis</i> (ウスバスミレ)、 <i>Viola boissieriana</i> var. <i>boissieriana</i> (ヒメミヤマスミレ)、 <i>Viola chaerophylloides</i> var. <i>sieboldiana</i> (ヒゴスミレ)、 <i>Viola collina</i> (エゾノアオイスミレ (エゾアオイスミレ、マルバケスミレ、テシオスミレ、ニオイケスミレ))、 <i>Viola hirtipes</i> (サクラスミレ)、 <i>Viola maximowicziana</i> (コミヤマスミレ)、 <i>Viola selkirkii</i> (ミヤマスミレ)、 <i>Viola shikokiana</i> (シコクスミレ (ハコネスミレ))、 <i>Viola variegatavar. nipponica</i> (ゲンジスミレ (イヨスミレ))、 <i>Viola yazuwana</i> (ヒメスミレサイン)
オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i> var. <i>caespitosum</i> (フジオトギリ)、 <i>Hypericum hakonense</i> (ハコネオトギリ)、 <i>Hypericum imperforatum</i> (クロテンコオトギリ)、 <i>Hypericum japonicum</i> (ヒメオトギリ)、 <i>Hypericum kinoshianum</i> (ミヤコオトギリ)、 <i>Hypericum oliganthum</i> (アゼオトギリ)、 <i>Hypericum senanense</i> subsp. <i>senanense</i> (シナノオトギリ (ミヤマオトギリ)、ウツクシオトギリ))

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあっては属名）
フウロソウ ミカン	<i>Geranium onei</i> var. <i>onei</i> (グンナイフウロ (イブキグンナイフウロ)) 、 <i>Geranium onei</i> var. <i>alpinum</i> (タカネグンナイフウロ) 、 <i>Geranium shikokianum</i> (カイフウロ) 、 <i>Geranium shikokianum</i> var. <i>shikokianum</i> (イヨフウロ (シコクフウロ)) 、 <i>Geranium tripartitum</i> var. <i>tripartitum</i> (コフウロ) 、 <i>Geranium yesensevar. nipponicum</i> (アカヌマフウロ (アカヌマソウフウロ、シロウマフウロ))
アカバナ ムクロジ	<i>Chamerion angustifolium</i> (ヤナギラン) 、 <i>Epilobium amurense</i> subsp. <i>cephalostigma</i> (イワアカバナ (ケナシイワアカバナ)) 、 <i>Epilobium fauriei</i> (ヒメアカバナ) 、 <i>Epilobium hornemannii</i> (ミヤマアカバナ (コアカバナ、リシリアカバナ)) 、 <i>Epilobium phystigmatosum</i> (トダイアカバナ (サイヨウアカバナ、ホソバタイワンアカバナ))
アブラナ ツチトリモチ	<i>Acer miyabei</i> (クロビイタヤ (ミヤベカエデ))
ビャクダン オオバヤドリギ	<i>Zanthoxylum armatum</i> var. <i>subtrifoliatum</i> (ワニサボン (ショウジョウ))
オオバヤドリギ モウセンゴケ	<i>Daphne koreana</i> (チヨウセンオニワズ (チヨウセンオニシバリ)) 、 <i>Daphne pseudomezereum</i> (オニシバリ (ナツボウズ))
ヒユ	<i>Arabis serrata</i> var. <i>sikkimensis</i> (シコクハタザオ) 、 <i>Barbarea orthoceras</i> (ヤマガラシ (マルハヤマガラシ、ミヤマガラシ、イブキガラシ、シベリアヤマガラシ、エゾヤマガラシ)) 、 <i>Cardamine amoenoides</i> (ミツバコソロソウ) 、 <i>Cardamine torrentis</i> (オクヤマガラシ) 、 <i>Catolobus ligulifolius</i> (ヘラハタザオ (トダイハタザオ)) 、 <i>Dontostemon dentatus</i> var. <i>dentatus</i> (ハナハタザオ) 、 <i>Draba kitadakensis</i> (キタダケナズナ (ハクホウナズナ)) 、 <i>Draba oiana</i> (ヤツガタケナズナ) 、 <i>Sisymbrium heteromallum</i> (キバナハタザオ (キバナノハタザオ、ナタネダマシ))
アデシコ	<i>Balanophora japonica</i> (ミヤマツチトリモチ (キユウシュウツチトリモチ))
アシサイ	<i>Viscum album</i> subsp. <i>coloratum</i> (ヤドリギ (タイワノヤドリギ)) 、 <i>Viscum album</i> subsp. <i>coloratum</i> f. <i>rubrocauranticum</i> (アカミヤドリギ)
サクラソウ イワウメ	<i>Taxillus kaempferi</i> (マツツギ)
マタタビ ツツジ	<i>Aconogonon weyrichi</i> var. <i>alpinum</i> (オントダデ (イワタデ)) 、 <i>Bistorta officinalis</i> subsp. <i>japonica</i> (イブキトロノオ (ホソハイブキトロノオ、イワイブキトロノオ)) 、 <i>Bistorta vivipara</i> (ムカゴトラノオ) 、 <i>Persicaria hastatosagittata</i> (ナガバノウナギツカミ (ヨゴメウナギツカミ)) 、 <i>Persicaria taquetii</i> (ヌカボタデ (コスカボタデ))
ヤマゴボウ シジミ	<i>Drosera rotundifolia</i> (モウセンゴケ)
サクランボ ヒユ	<i>Cerastium pauciflorum</i> var. <i>amurense</i> (タガソデソウ (ヒメタガソデソウ)) 、 <i>Pseudostellaria heterantha</i> var. <i>heterantha</i> (ワチガソイソウ) 、 <i>Pseudostellaria palibiniana</i> (ヒゲネワチガイソウ (ヒゲネワチガイ)) 、 <i>Silene gracillima</i> (センジュガソウ) 、 <i>Silene keiskei</i> var. <i>minor</i> (ビランソウ) 、 <i>Silene willdii</i> (エシビセソウ)
ヤマアカサ アシカサ	<i>Chenopodium acuminatum</i> var. <i>vachellii</i> (カララアカサ) 、 <i>Chenopodium bryoniaefolium</i> (ミドリアカサ (ヤマアカサ、ヒメアカサ)) 、 <i>Chenopodium gracilispicum</i> (イワアカサ (ヤマアカサ、ヒメアカサ))
アシカサ	<i>Phytolacca japonica</i> (マルミノヤマゴボウ)
サクラソウ マタタビ	<i>Deutzia uniflora</i> (ヴェヌツギ) 、 <i>Hydrangea scandens</i> (ガクテツギ (コンテリギ))
イワウメ ツツジ	<i>Lysimachia barystachys</i> (ノジトラノオ) 、 <i>Lysimachia vulgaris</i> var. <i>davurica</i> (クサレダマ (イオウソウ)) 、 <i>Primula japonica</i> (クリソソウ) 、 <i>Primula reinii</i> var. <i>reinii</i> (コイワザクラ (オオミネコザクラ)) 、 <i>Primula reinii</i> var. <i>rhododictia</i> (チチブイワザクラ)
マタタビ ツツジ	<i>Diapensia lapponica</i> subsp. <i>obovata</i> (イワウメ) 、 <i>Schizocodon illicifolius</i> var. <i>australis</i> (アカバナヒメイワカガミ (ベニバナヒメイワカガミ)) 、 <i>Schizocodon illicifolius</i> var. <i>soldanelloides</i> (イワカガミ) 、 <i>Schizocodon soldanelloides</i> var. <i>soldanelloides</i> f. <i>alpinus</i> (コイワカガミ)
アシカサ	<i>Actinidia arguta</i> var. <i>hypoleuca</i> (ウラジロマタタビ)
アキノギンリヨウソウ ツツジ	<i>Chimaphila japonica</i> (ウメガサソウ) 、 <i>Monotropa hypopithys</i> (シャクジョウソウ (シャクジョウバナ)) 、 <i>Monotropa uniflora</i> (ギンリヨウソウモドキ (アキノギンリヨウソウ、ユウレイタケモドキ、ユウレイソウモドキ)) 、 <i>Monotropastrum humile</i> (ギンリヨウソウ (マルミニノギンリヨウソウ、コギン

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
リョウソウ科	<i>Orthilia secunda</i> (コイチャクソウ)、 <i>Pyrrola asarifolia</i> subsp. <i>internata</i> (ベニバナイチヤクソウ)、 <i>Pyrrola renifolia</i> (ジンヨウイチヤクソウ)、 <i>Arctous alpinus</i> var. <i>japonicus</i> (ウラシマザクラ (ハマザクラ))、 <i>Elliottia paniculata</i> (ホツツジ (ヤクシマホツツジ、ヒロハホツツジ))、 <i>Enkianthus campanulatus</i> var. <i>campanulatus</i> (サラサドウダン)、 <i>Enkianthus cernuum</i> f. <i>rubens</i> (ベニドウダン (チブドウダン、コベニドウダン))、 <i>Eubotryoides grayana</i> var. <i>hypoleuca</i> (ウラジロハナヒノキ (コシノハナヒリノキ))、 <i>Gaultheria adenothrix</i> (アカモノ (イワハゼ))、 <i>Gaultheria pyroloides</i> (シラタマノキ (シロモノ))、 <i>Loiseleuria procumbens</i> (ミネズオウ)、 <i>Phyllodoce nipponica</i> subsp. <i>nipponica</i> (ツガザクラ)、 <i>Rhododendron aureum</i> (キバナシャクナゲ)、 <i>Rhododendron brachycarpum</i> var. <i>brachycarpum</i> (ハクサンシャクナゲ (シロバナシャクナゲ、ウラヂハクサンシャクナゲ))、 <i>Rhododendron degronianum</i> var. <i>degronianum</i> (アズマシヤクナゲ (シヤクナゲ))、 <i>Rhododendron dilatatum</i> var. <i>dilatatum</i> (ミツバツツジ)、 <i>Rhododendron keiskei</i> var. <i>keiskei</i> (ヒカゲツツジ (サワテラシ、ヤクシマヒカゲツツジ))、 <i>Rhododendron lagopus</i> var. <i>lagopus</i> (ダイセンミツバツツジ)、 <i>Rhododendron molle</i> subsp. <i>Japonicum</i> (レンゲツツジ)、 <i>Rhododendron pentaphyllum</i> var. <i>nikense</i> (アカヤシオ (アカギツツジ))、 <i>Rhododendron tschonoskii</i> subsp. <i>tschonoskii</i> (コメツツジ)、 <i>Rhododendron tsusiyophilum</i> (シロヤシオ (ゴヨウツツジ))、 <i>Rhododendron wadanum</i> (トウゴクミツバツツジ)、 <i>Vaccinium praestans</i> (イワツツジ)、 <i>Vaccinium uliginosum</i> var. <i>japonicum</i> (クロマメノキ)、 <i>Vaccinium vitis-idaea</i> (コケモモ (ヒロハコケモモ))、 <i>Empetrum nigrum</i> var. <i>japonicum</i> (サンコウラン)
アカネ	<i>Galium kantschaticum</i> var. <i>kantschaticum</i> (エゾノヨツバムグラ)、 <i>Galium verum</i> subsp. <i>asiaticum</i> (ハナムグラ)、 <i>Galium verum</i> var. <i>tokyoense</i> (カワラマツバ) (キハナノカワラマツバ、ウスイロカワラマツバ、オオキハナノカワラマツバ))、 <i>Galium verum</i> subsp. <i>asiaticum</i> f. <i>lacteum</i> (カワラマツバ)、 <i>Pseudopyxis depressa</i> (イナモリソウ)、 <i>Rubia hexaphylla</i> (オオアカネ)
リンドウ	<i>Gentiana algida</i> (トウヤクリンドウ)、 <i>Gentiana makinoi</i> (オヤマリンドウ)、 <i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i> (リンドウ (ツクシリンドウ、ササリンドウ))、 <i>Gentiana squarrosa</i> (コケリンドウ)、 <i>Gentiana thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i> (ハレリンドウ)、 <i>Gentiana triflora</i> var. <i>japonica</i> (エゾリンドウ)、 <i>Gentianopsis contorta</i> (チブリンドウ (ヒロハヒゲリンドウ))、 <i>Habenaria corniculata</i> (ハナイカリ)、 <i>Swertia bimaculata</i> (アケボノソウ)、 <i>Swertia pseudochinensis</i> (ムラサキセンブリ)
キヨウチクトウ	<i>Vincetoxicum acuminatum</i> (クサタチバナ)、 <i>Vincetoxicum atratum</i> (フナバソウ)、 <i>Vincetoxicum macrophyllum</i> var. <i>nikense</i> (ツルガシワ (オオツルガシワ))、 <i>Vincetoxicum magnificum</i> (タチガシワ)、 <i>Vincetoxicum pycnostelma</i> (スズサイコ)
ムラサキ	<i>Ancistrocarpa japonica</i> (サワリソウ)、 <i>Lithospermum erythrorhizon</i> (ムラサキ)、 <i>Trigonotis inumae</i> (ツルカメバソウ)
ヒルガオ	<i>Cuscuta australis</i> (マメダオジ)
ナス	<i>Physalisstrum japonicum</i> (アオホオズキ (フジホオズキ))、 <i>Solanum japonense</i> var. <i>takaoyamense</i> (タカオホロジ)
モクセイ	<i>Syringa reticulata</i> var. <i>reticulata</i> (ハシドイ)
イワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i> var. <i>ramondioides</i> (イワタバコ)
オオバコ	<i>Veronica polita</i> subsp. <i>lilacina</i> (イヌノフグリ)、 <i>Veronica rotunda</i> var. <i>petiolata</i> (ヒメトラノオ)、 <i>Veronica undulata</i> (カワヂシャ、カワジサ))、 <i>Veronicastrum japonicum</i> var. <i>japonicum</i> (クガイソウ)
ゴマノハグサ	<i>Scrophularia musashiensis</i> var. <i>musashiensis</i> (サツキヒナノウスツボ)

科名	種名（ミズゴケ科の植物）にあつては属名
シソ ハエドクソウ	<i>Ajuga ciliata</i> var. <i>villiosior</i> (カイジンドウ)、 <i>Ajuga incisa</i> (ヒイラギソウ)、 <i>Ajuga makinoi</i> (タチキランソウ (エシシュウニシキソウ))、 <i>Ajuga yesoensis</i> var. <i>tsukubana</i> (ツクバキンモンソウ)、 <i>Chelonopsis longipes</i> (タニジヤコウソウ)、 <i>Chelonopsis yagiharana</i> (アシタカジャコウソウ (タカネジャコウソウ))、 <i>Clinopodium macranthum</i> (ミヤマクルマバナ)、 <i>Collinsonia japonica</i> (シモバシラ)、 <i>Comanthophace japonica</i> (テシニンソウ)、 <i>Draeccephalum argunense</i> (ムシャリンドウ (マンシュウムシャリンドウ))、 <i>Leonurus macranthus</i> (キセワタ)、 <i>Loxocalyx ambiguus</i> (マネキグサ (ヤマキセワタ))、 <i>Mosla japonica</i> var. <i>japonica</i> (ヤマジソウ)、 <i>Salvia lutescens</i> var. <i>intermedia</i> (ナツノタムラソウ)、 <i>Salvia plebeia</i> (ミヅコウジソウ (ユキミソウ))、 <i>Thymus quinquecostatus</i> var. <i>quinquecostatus</i> (イブキジヤコウソウ (イワジヤコウソウ、ナンマンジヤコウソウ))
ハマウツボ キキヨウ タヌキモ キク	<i>Euphrasia matsumurae</i> (ヒメコゴメグサ (コバノコゴメグサ))、 <i>Euphrasia maximowiczii</i> var. <i>maximowiczii</i> (タチコゴメグサ)、 <i>Lathraea japonica</i> var. <i>japonica</i> (ヤマウツボ (ゲンジウツボ))、 <i>Lathraea japonica</i> var. <i>miquelianiana</i> (ケヤマウツボ)、 <i>Melampyrum laxum</i> var. <i>arcutatum</i> (タカネママコナ)、 <i>Melampyrum laxum</i> var. <i>nikkense</i> (ミヤマママコナ)、 <i>Pedicularis gloriosa</i> (ハシカイシオガマ (ハンカイアザミ))、 <i>Pedicularis resupinata</i> subsp. <i>oppositifolia</i> (シオガマギク)、 <i>Pedicularis resupinata</i> subsp. <i>takadae</i> (イワシヤジソウ)、 <i>Siphonostegia chinensis</i> (ヒキヨモギ)、 <i>Siphonostegia laeta</i> (オオヒキヨモギ)、 <i>Aeginetia indica</i> var. <i>indica</i> (ナシバンギセル (オモイグサ、ムニンギセル、タイワンギセル))、 <i>Aeginetia sinensis</i> (オナンバンギセル (ヤマナシバンギセル))、 <i>Phacellanthus tubiflorus</i> (キヨスミウツボ (キヨスミウツボ))
タヌキモ キク	<i>Pinguicula vulgaris</i> var. <i>macroceras</i> (ムシトリスミレ) <i>Adenophora divaricata</i> (フクシマシャジン (ホソバフクシマシャジン)、ヒロハシャジン)、 <i>Adenophora nikoensis</i> var. <i>nikoensis</i> (ヒメシャジン (ホソバヒメシャジン)、オクヤマシャジン)、 <i>Adenophora nikoensis</i> var. <i>nipponica</i> (ミヤマシャジン (ホソバノミヤマシャジン))、 <i>Adenophora nikoensis</i> var. <i>takedae</i> (イワシヤジソウ)、 <i>Campanula chamissonis</i> (チシマギキョウ)、 <i>Campanula caespitosa</i> (トモエシオガマ)、 <i>Siphonostegia chinensis</i> (ヒキヨモギ)、 <i>Codonopsis javanica</i> subsp. <i>japonica</i> (ツルギキヨウ)、 <i>Codonopsis ussuriana</i> (ハニアソブ)、 <i>Percarapa carmosa</i> var. <i>carmosa</i> (タニギキヨウ (ヒマラヤタニギキヨウ))、 <i>Platynodon grandiflorus</i> (キキヨウ)
タヌキモ キク	<i>Anaphalis sinica</i> subsp. <i>sinica</i> (ヤハズノハコ (ヤバネホウコ))、 <i>Anaphalis sinica</i> var. <i>pennivea</i> (トダイハハコ)、 <i>Anaphalis sinica</i> var. <i>pennivea</i> (トダイハハコ)、 <i>Amica unalascensis</i> var. <i>tschonoskii</i> (ウサギギク (キンギュルマ))、 <i>Aster ageratoides</i> f. <i>purpurens</i> (サガミギク (ムラサキヤマシロギク))、 <i>Aster dimorphothylloides</i> (タテヤマギク)、 <i>Aster semianplexicaulis</i> (イナカギク (ヤマシロギク))、 <i>Aster viscidulus</i> var. <i>viscidulus</i> (ハコネギク (ミヤマコシロギク))、 <i>Chrysanthemum pallasiatum</i> (オオイワインチン (トガクシイワインチン、トガクシイシソウ))、 <i>Chrysanthemum rupestre</i> (イワインチン (インチソヨモギ))、 <i>Chrysanthemum laranthifolium</i> (キクタニギク (アワコガネギク、アブラギク))、 <i>Cirsium dipsacoides</i> (モリアザミ (ゴボウアザミ、ヤブアザミ))、 <i>Cirsium purpuratum</i> (フジアザミ)、 <i>Oreasteria chelidoniifolium</i> (クサノオバハノギク (クサノオバノヤクシソウ))、 <i>Erigeron thunbergii</i> subsp. <i>thunbergii</i> (アヤギタンホボボ)、 <i>Hieracium alpicola</i> (タカネニガナ (ホソバノタカネヤマコウゾリナ))、 <i>Hieracium umbellatum</i> (ヤナギタンホボボ)、 <i>Inula ciliaris</i> var. <i>ciliaris</i> (ミズギク)、 <i>Eupatorium japonicum</i> (ミヤマシロギク)、 <i>Ixeridium apicula</i> (カワラニガナ)、 <i>Leontopodium japonicum</i> var. <i>japonicum</i> (ウスユキニガナ)、 <i>Ikeris tamagawaensis</i> (カワラニガナ)、 <i>Ikeris chinensis</i> subsp. <i>strigosa</i> (タカサゴソウ)、 <i>Ikeris fischeri</i> (オタカラコウ (タリクオタカラコウ))、 <i>Ligularia kuriatina</i> (カイタカラコウ)、 <i>Ligularia stenocephala</i> (メタカラコウ (オカヤマコウモリ))、 <i>Parasenecio hastatus</i> subsp. <i>orientalis</i> (ヨブスマソウ)、 <i>Parasenecio kantschaticus</i> (ミミコウモリ)、 <i>Parasenecio maximowiczianus</i> var. <i>alatus</i> (オカヤマコウモリ)、 <i>Parasenecio tebalkensis</i> (テバコモミジガサ)、 <i>Peris hieracoides</i> subsp. <i>japonica</i> var. <i>akaihensis</i> (アカイシコウリナ)、 <i>Pseudognaphalium hypoleucum</i> (アキノノハコグサ)、 <i>Saussurea amabilis</i> (コウシュウヒゴタイ)、 <i>Saussurea hissachii</i> (タシザワヒゴタイ)、 <i>Saussurea pulchella</i> (ヒメヒゴタイ)、 <i>Saussurea maximowiczii</i> var. <i>maximowiczii</i> (ミヤコアザミ)、 <i>Saussurea nipponica</i> subsp. <i>savatieri</i> (アサマヒゴタイ)、 <i>Saussurea tanakae</i> (セイタカトウヒ (コウライヒメヒゴタイ)、ホソバヒメヒゴタイ)、 <i>Saussurea sinuata</i> (タカオヒゴタイ)、 <i>Saussurea tanakae</i> (セイタカトウヒ)

科名	種名（ミズゴケ科の植物にあつては属名）
マヒゴタイ	<i>Saussurea triptera</i> var. <i>minor</i> (タカネヒゴタイ) 、 <i>Saussurea triptera</i> var. <i>triptera</i> (ヤハズヒゴタイ (トゲキアザミ) 、 ヤマヒゴタイ)) 、 <i>Saussurea ussuriensis</i> var. <i>ussuriensis</i> (キクアザミ) 、 <i>Solidago virgaurea</i> subsp. <i>leiocarpa</i> var. <i>leiocarpa</i> (ミヤマアキノキリンソウ (コガネギク)) 、 <i>Tephrosia flammula</i> subsp. <i>glabrifolia</i> (コウリンカ) 、 <i>Tephrosia furusei</i> (キバナコウリンカ) 、 <i>Tephrosia integrifolia</i> subsp. <i>kirilowii</i> (オカオグルマ) 、 <i>Tephrosia pierotii</i> (サワオグルマ) 、 <i>Xanthium strumarium</i> subsp. <i>sibiricum</i> (オナモミ)
スイカズラ	<i>Abelia serrata</i> var. <i>serrata</i> (コツクバネウツギ (ロツコウキバネウツギ)) 、 <i>Abelia spathulata</i> var. <i>sanguinea</i> (ベニバナツクバネウツギ) 、 <i>Limnaea borealis</i> (リンネソウ (メオトバナ、エゾアリドオシ)) 、 <i>Lonicera demissa</i> var. <i>demissa</i> (イボタヒヨウタンボク) 、 <i>Lonicera mochizukiana</i> var. <i>mochizukiana</i> (ニッコウヒヨウタンボク) 、 <i>Lonicera praeflorens</i> var. <i>japonica</i> (ハヤザキヒヨウタンボク) 、 <i>Lonicera ramosissima</i> var. <i>ramosissima</i> f. <i>glabrata</i> (チチブヒヨウタンボク (ミツトウゲヒヨウタンボク) 、 キタウグイスカグラ)) 、 <i>Lonicera strophiophora</i> var. <i>glabra</i> (ダイセンヒヨウタンボク) 、 <i>Lonicera strophiophora</i> var. <i>strophiophora</i> (アラゲヒヨウタンボク (オオハビヒヨウタンボク)) 、 <i>Lonicera vidalii</i> (オニヒヨウタンボク) 、 <i>Weigela maximowiczii</i> (キバナウツギ) 、 <i>Zabelia integrifolia</i> (イワツクバネウツギ) 、 <i>Patrinia scabiosifolia</i> (オミナエシ (オミナエシメシ、アワバナ)) 、 <i>Patrinia triloba</i> var. <i>palmata</i> (キンレイカ) 、 <i>Patrinia triloba</i> var. <i>triloba</i> (ハクサンオミナエシ (コキンレイカ)) 、 <i>Valeriana flaccidissima</i> (ツルカノコソウ) 、 <i>Scabiosa japonica</i> var. <i>alpina</i> (タカネマツムシソウ (ミヤママツムシソウ)) 、 <i>Scabiosa japonica</i> var. <i>japonica</i> (マツムシソウ)
ウコギ	<i>Aralia glabra</i> (ミヤマウド) 、 <i>Eleutherococcus hypoleucus</i> (ウラジロウコギ (ミヤマコシアブテ)) 、 <i>Eleutherococcus trichodon</i> (ミヤマウコギ)
セリ	<i>Angelica hakonensis</i> (イワニンジン (ノダケモドキ)) 、 <i>Angelica inaequalis</i> (ハナビゼリ) 、 <i>Bupleurum longiradiatum</i> var. <i>elatius</i> (ホタルササイコ) 、 <i>Chamaele decumbens</i> var. <i>japonica</i> (ミヤマセントウソウ) 、 <i>Coelopleurum multisectum</i> (ミヤマゼンゴ) 、 <i>Libanotis ugoensis</i> var. <i>japonica</i> (イブキボウフウ) 、 <i>Pleurospermum urakense</i> (オオカサモチ (オニカサモチ)) 、 <i>Sanicula kraensis</i> (ヤマナシウマノミツバ (ヤマナシミツバ)) 、 <i>Sanicula rubriflora</i> (クロバナウマノミツバ (マンシュウミツバ)) 、 <i>Sium minsi</i> (ムカゴニンジン) 、 <i>Tilingia tachiroei</i> (ミヤマウイキヨウ (イワウイキヨウ、ヤマウイキヨウ))

(イ) 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

(表 11 : 普通地域表)

都県名	区 域	面 積(ha)
埼玉県	秩父市内 国有林埼玉森林管理事務所 62林班、64-II林班、66林班、71林班から73林班まで及び76林班の全部並びに63林班、64-I林班及び67林班から70林班までの各一部 秩父市 大滝、中津川及び三峰の各一部	20,823 国 2,849 公 8,238 私 9,736
	秩父郡小鹿野町 両神 小森及び両神薄の各一部	877 国 0 公 0 私 877
	小計	21,700 国 2,849 公 8,238 私 10,613
東京都	青梅市 沢井一丁目、沢井二丁目、沢井三丁目、成木七丁目、梅郷三丁目、梅郷四丁目、梅郷五丁目、梅郷六丁目、日向和田三丁目、二俣尾一丁目、二俣尾二丁目、二俣尾三丁目、二俣尾四丁目、二俣尾五丁目、御岳本町、御岳一丁目、御岳二丁目、柚木町一丁目、柚木町二丁目及び柚木町三丁目の各一部	1,686 国 0 公 46 私 1,640
	あきる野市 乙津、戸倉及び養沢の各一部	1,374 国 48 公 66 私 1,260
	西多摩郡日の出町 大字大久野肝要・松尾・三ツ沢の一部	578 国 5 公 15 私 558
	西多摩郡檜原村 小沢及び三都郷の全部並びに数馬、神戸、上元郷、倉掛、下元郷、南郷、樋里、藤原、人里及び本宿の各一部	5,759 国 113 公 301 私 5,345

都県名	区 域	面 積(ha)
	西多摩郡奥多摩町 海沢、梅沢、大丹波、川井、川野、河内、小丹波、境、白丸、棚沢、丹三郎、留浦、日原、原及び冰川の各一部	10,937 国 39 公 2,922 私 7,976
	小計	20,334 国 205 公 3,350 私 16,779
山梨県	甲府市内 国有林山梨森林管理事務所 4林班の全部	
	甲府市 塔岩町 <small>とういわちょう</small> の全部並びに猪狩町、上帶那町、川窪町、黒平町、草鹿沢町、下帶那町、高町、高成町、竹日向町、羽黒町 <small>はぐろちょう</small> 、平瀬町、御岳町及び山宮町 <small>やまみやちょう</small> の各一部	5,749 国 27 公 3,836 私 1,886
	山梨市 牧丘町北原塩平、三富上釜口、三富川浦及び三富徳和の各一部	4,548 国 55 公 2,819 私 1,674
	北杜市 須玉町小尾及び須玉町比志の各一部	3,190 国 35 公 2,638 私 517
	甲斐市 千田 <small>せんだ</small> の全部及び吉沢の一部	130 国 0 公 0 私 130
	甲州市 塩山一之瀬高橋、塩山上小田原 <small>かみおだわら</small> 、塩山上萩原裂石及び塩山上萩原萩原山の各一部	3,408 国 0 公 3,284 私 124
	北都留郡小菅村 小菅第1及び小菅第2の各一部	1,608 国 0 公 179 私 1,429

都県名	区 域	面 積(ha)
	北都留郡丹波山村 おくあき おしがいと かみぐみ こそで しもぐみ たかお なかぐみ ほのせかみ 奥秋、押垣外、上組、小袖、下組、高尾、中組及び保之瀬上の 全部並びに鴨沢、丹波山、所畑及び保之瀬下の各一部	3,749 (国 0 公 1,209 私 2,540)
	小計	22,382 (国 117 公 13,965 私 8,300)
長野県	南佐久郡川上村内 国有林東信森林管理署 48林班の全部及び60林班の一部 南佐久郡川上村 いぐら かわはけ 大字秋山、大字梓山、大字居倉及び大字川端下の各一部	5,356 (国 445 公 1,608 私 3,303)
	合 計	69,772 (国 3,616 公 27,161 私 38,995)

ウ 面積内訳

(表12: 地域地区別土地所有別面積総括表)

(単位: 面積 ha、比率%)

地域区分			特別地域									普通地域			合計					
地種区分			特別保護地区			第1種			第2種			第3種			(陸域)					
土地所有別			国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私			
埼玉県	土地所有別面積	1,698	0	0	2,707	7	83	1,543	1,021	1,000	1,440	1,761	1,451	2,849	8,238	10,613	10,237	11,027	13,147	
	地種区分面積 (比率)	1,698 (1.3)				2,797 (2.2)				3,564 (2.8)				4,652 (3.7)						
	地域地区別面積 (比率)														11,013 (8.7)					
	地域別面積 (比率)													12,711 (10.0)						
東京都	土地所有別面積	0	148	0	0	2,321	218	201	3,024	1,709	0	4,312	3,031	205	3,350	16,779	406	13,155	21,737	
	地種区分面積 (比率)	148 (0.1)				2,539 (2.0)				4,934 (3.9)				7,343 (5.8)						
	地域地区別面積 (比率)														14,816 (11.7)					
	地域別面積 (比率)													14,964 (11.8)						
山梨県	土地所有別面積	0	1,563	103	0	3,536	21	0	7,713	1,658	80	9,047	731	117	13,965	8,300	197	35,824	10,813	
	地種区分面積 (比率)	1,666 (1.3)				3,557 (2.8)				9,371 (7.4)				9,858 (7.8)						
	地域地区別面積 (比率)														22,786 (18.0)					
	地域別面積 (比率)													24,452 (19.3)						
長野県	土地所有別面積	279	0	0	273	0	0	0	61	0	2,631	368	748	445	1,608	3,303	3,628	2,037	4,051	
	地種区分面積 (比率)	279 (0.2)				273 (0.2)				61 (0.1)				3,747 (3.0)						
	地域地区別面積 (比率)														4,081 (3.2)					
	地域別面積 (比率)													4,360 (3.5)						
合計	土地所有別面積	1,977	1,711	103	2,980	5,864	322	1,744	11,819	4,367	4,151	15,488	5,961	3,616	27,161	38,995	14,468	62,043	49,748	
	地種区分面積 (比率)	3,791 (3.0)				9,166 (7.2)				17,930 (14.2)				25,600 (20.3)						
	地域地区別面積 (比率)														52,696 (41.7)					
	地域別面積 (比率)													56,487 (44.7)						

(表 13 : 地域地区別市町村別面積総括表)

(単位 : 面積ha)

市町村名			地域地区					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)
			特保	第1種	第2種	第3種	小計		
埼玉県	秩父市		1,698 (1,698)	2,797 (2,797)	3,128 (3,128)	4,652 (4,652)	12,275 (12,257)	20,823 (20,823)	33,098 (33,098)
	秩父郡	小鹿野町	0 (0)	0 (0)	436 (436)	0 (0)	436 (436)	877 (877)	1,313 (1,313)
	小計		1,698 (1,698)	2,797 (2,797)	3,564 (3,564)	4,652 (4,652)	12,711 (12,711)	21,700 (21,700)	34,411 (34,411)
東京都	青梅市		0 (0)	21 (21)	315 (315)	363 (363)	699 (699)	1,686 (1,686)	2,385 (2,385)
	あきる野市		0 (0)	0 (0)	112 (112)	382 (382)	494 (494)	1,374 (1,374)	1,868 (1,868)
	西多摩郡	日の出町	0 (0)	0 (0)	97 (97)	70 (70)	167 (167)	578 (578)	745 (745)
		檜原村	76 (76)	0 (0)	614 (614)	1,288 (1,288)	1,978 (1,978)	5,759 (5,759)	7,737 (7,737)
	奥多摩町		72 (72)	2,518 (2,518)	3,796 (3,796)	5,240 (5,240)	11,626 (11,626)	10,937 (10,937)	22,563 (22,563)
	小計		148 (148)	2,539 (2,539)	4,934 (4,934)	7,343 (7,343)	14,964 (14,964)	20,334 (20,334)	35,298 (35,298)
山梨県	甲府市		309 (309)	422 (422)	557 (557)	1,417 (1,417)	2,705 (2,705)	5,749 (5,749)	8,454 (8,454)
	山梨市		353 (353)	619 (619)	2,979 (2,979)	3,433 (3,433)	7,384 (7,384)	4,548 (4,548)	11,932 (11,932)
	北杜市		343 (343)	482 (482)	1,235 (1,235)	687 (687)	2,747 (2,747)	3,190 (3,190)	5,937 (5,937)
	甲斐市		59 (59)	27 (27)	62 (62)	23 (23)	171 (171)	130 (130)	301 (301)
	甲州市		288 (288)	469 (469)	1,566 (1,566)	1,601 (1,601)	3,924 (3,924)	3,408 (3,408)	7,332 (7,332)
	北都留郡	小菅村	0 (0)	166 (166)	150 (150)	799 (799)	1,115 (1,115)	1,608 (1,608)	2,723 (2,723)
		丹波山村	314 (314)	1,372 (1,372)	2,822 (2,822)	1,898 (1,898)	6,406 (6,406)	3,749 (3,749)	10,155 (10,155)
小計			1,666 (1,666)	3,557 (3,557)	9,371 (9,371)	9,858 (9,858)	24,452 (24,452)	22,382 (22,382)	46,834 (46,834)
長野県	南佐久郡	川上村	279 (279)	273 (273)	61 (61)	3,747 (3,747)	4,360 (4,360)	5,356 (5,356)	9,716 (9,716)
合計			3,791 (3,791)	9,166 (9,166)	17,930 (17,930)	25,600 (25,600)	56,487 (56,487)	69,772 (69,772)	126,259 (126,259)

注) 括弧内に示す数値は、前回の計画書における値である。

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 利用施設計画

(ア) 集団施設地区

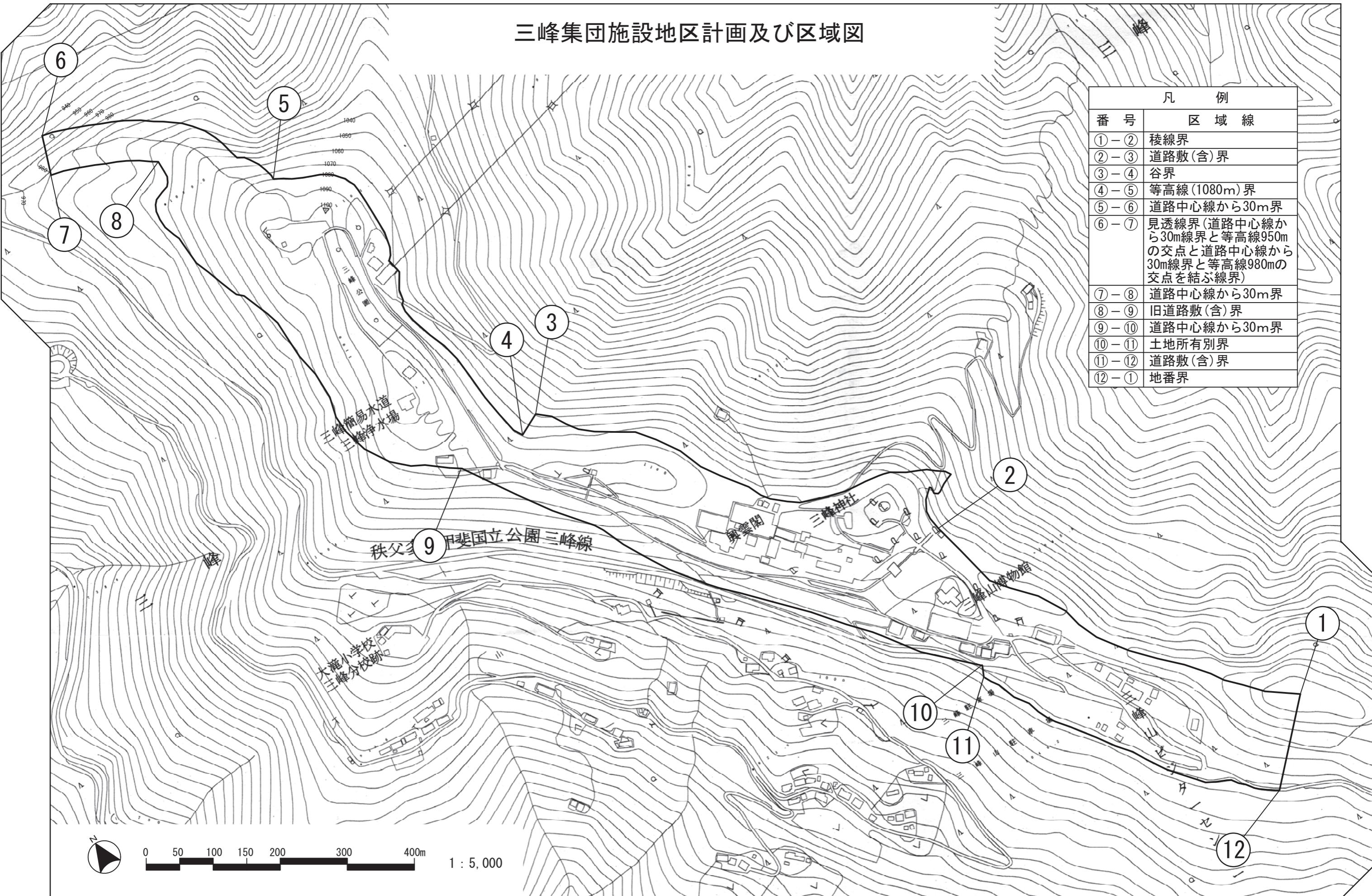
集団施設地区を次のとおりとする。

(表 14 : 集団施設地区表)

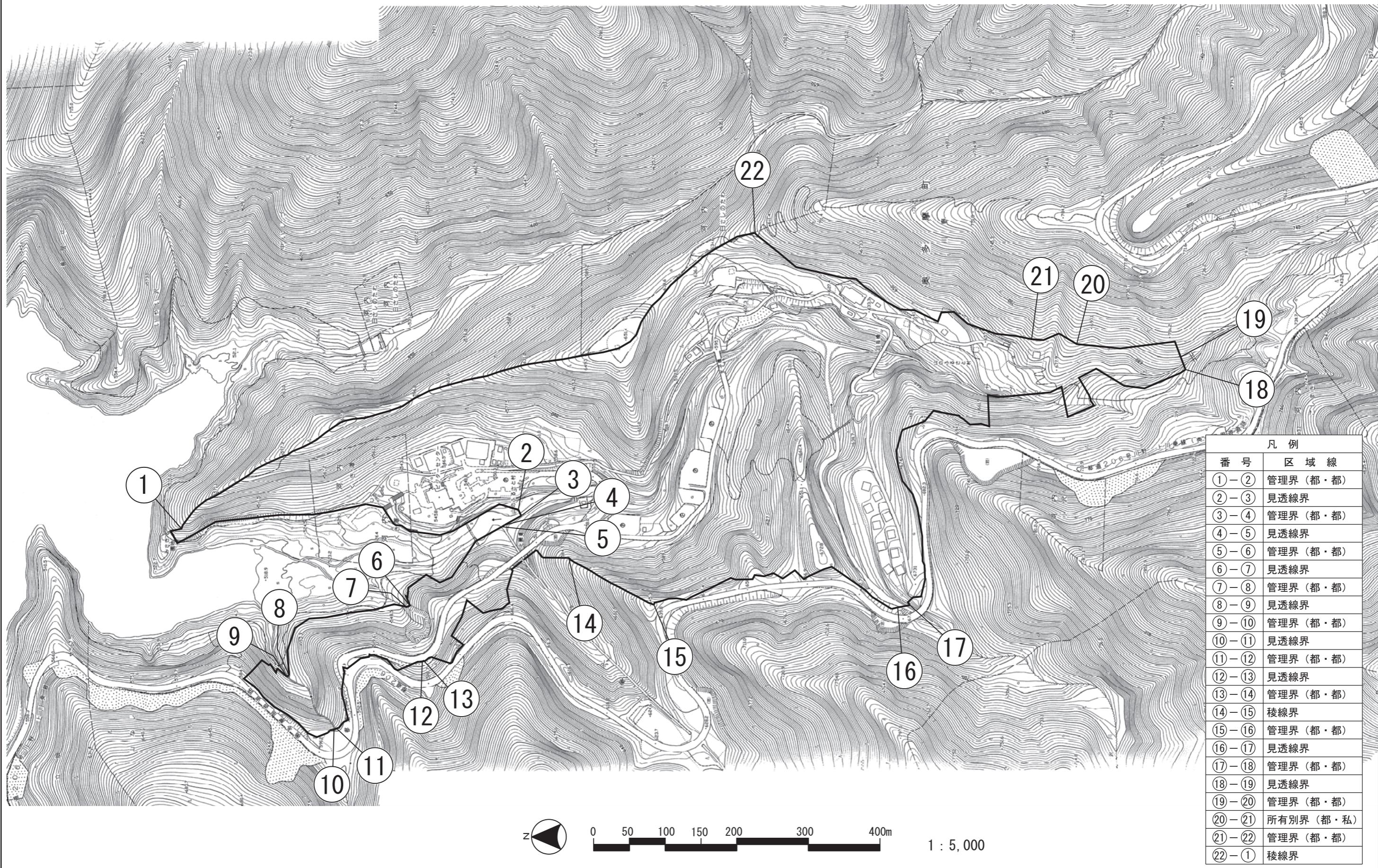
番号	名称	区域	計画目標	整備計画区 及び基盤施設	整備方針	面積 (ha)	旧計画との関係
1	三峰	埼玉県秩父市三峰の一部	<p>三峰集団施設地区は、標高1,102mの三峰から雲取山へと続く稜線沿いに位置する。二瀬三峰線車道や三峰山線索道が通じており、雲取山にかけての登山道の起点でもある。</p> <p>また、雲取山から大洞山（飛龍山）にかけての奥秩父連山の展望に優れています。地区の中央部には三峯神社が鎮座し、厳かな雰囲気を醸すスギ、ヒノキ等の境内林が広がっています。</p> <p>良好な自然環境や人文的景観に恵まれた立地条件を活かし、自然や文化財へのふれあい施設を整備するとともに、登山拠点としての施設整備を図る。</p>	三峰整備計画区	<p>二瀬三峰線車道が到達し、雲取山への登山口がある地区南部を利用の拠点と位置づけ、園地、休憩所、展望施設、駐車場、博物展示施設等を整備する。</p> <p>地区の中央に位置する三峯神社周辺には、利用者が滞在するための宿舎、展望施設等を整備する。</p> <p>三峰山線索道が到達していた地区北部においては、園地、休憩所、展望施設、案内所等を整備し当該地の自然環境にふれあうとともに、地区内の連絡を良好にするための園路を整備する。</p>	32.5	一般計画 S29. 2. 18 決定 H12. 8. 10 再検討 区域 S37. 12. 7 決定 S40. 6. 9 変更 H12. 8. 10 再検討 R5. 3. 31 変更 詳細計画 S37. 12. 7 決定 S40. 6. 9 変更 H12. 8. 10 再検討 (名称変更)
					面積計	国 公 私 0.0 1.1 31.4 32.5	
2	奥多摩湖 岫沢	東京都西多摩郡奥多摩町川野の一部	<p>奥多摩湖は東京都郊外における自然レクリエーションの場として、多くの利用者が訪れている。当該池は奥多摩湖の南岸に位置し、十里木小河内線車道に接する谷沿いの区域である。</p> <p>湖畔やミズナラ林などの良好な自然環境を保全しながら、自然とのふれあいを目的とした公園利用施設の整備充実を図る。</p>	奥多摩湖岫沢整備 計画区	<p>地区北部の奥多摩湖に面した平坦地を利用拠点として、園地、宿舎、休憩所、駐車場、博物展示施設等を整備する。</p> <p>地区南部は渓流沿いに地形を活かしながら、テントサイト、ケビン、炊事棟等の野営場を整備する。</p> <p>地区内の各施設への安定給水のために給水施設を、各施設の排水を処理するための排水施設を整備する。</p> <p>また、博物展示施設を拠点とした自然探勝、散策のための園路を整備する。</p> <p>地区内の自然林は極力保全するとともに、都民の水源池である奥多摩湖の水質保全に留意する。</p>	35.0	一般計画 S33. 5. 31 決定 H12. 8. 10 再検討 区域 H12. 8. 10 決定 R5. 3. 31 変更 詳細計画 H12. 8. 10 決定
					面積計	国 公 私 3.0 31.4 0.6 35.0	

注) 面積値は、区域の精査後に GIS ソフトを用いて算出した値である。

三峰集団施設地区計画及び区域図



奥多摩湖岫沢集団施設地区計画及び区域図



(イ) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 15 : 単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	園地	埼玉県秩父市 (日向大台)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
2	避難小屋	埼玉県秩父市 (清瀧)	両神山の登山利用者等の安全を図るための避難小屋として整備する。	HI2.8.10告示
8	園地	埼玉県秩父市 (中双里)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
10	園地	埼玉県秩父市及び長野県南佐久郡川上村 (三国峠)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
11	避難小屋	埼玉県秩父市 (白泰山)	白泰山の登山利用者等の安全を図るための避難小屋として整備する。	HI2.8.10告示
12	園地	埼玉県秩父市 (滝沢)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
13	園地	埼玉県秩父市 (柄本)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
14	避難小屋	埼玉県秩父市 (四里観音)	十文字山の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	HI2.8.10告示
15	園地	埼玉県秩父市 (秩父湖)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
17	駐車場	埼玉県秩父市 (秩父湖)	秩父湖やその周辺の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	HI2.8.10告示
18	給水施設	埼玉県秩父市 (秩父湖)	秩父湖やその周辺地区に安定的に飲料水等を給水するための給水施設として整備する。	HI2.8.10告示
19	宿舎	埼玉県秩父市 (十文字岬)	十文字山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	HI2.8.10告示
20	園地	埼玉県秩父市 (大輪)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
21	避難小屋	埼玉県秩父市 (柳小屋)	十文字山の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	HI2.8.10告示
22	園地	埼玉県秩父市 (豆焼丸)	風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
23	宿舎	埼玉県秩父市 (甲武信ヶ岳)	奥秩父縦走等の登山利用者のための宿泊施設として整備する。	HI2.8.10告示
24	休憩所	埼玉県秩父市 (霧瀬ヶ峰)	雲取山の登山利用者等のための休憩所として整備する。	HI2.8.10告示
25	避難小屋	埼玉県秩父市 (破風山)	奥秩父縦走等の登山利用者の安全を図るために避難小屋として整備する。	HI2.8.10告示
26	宿舎	埼玉県秩父市 (雁坂峠)	奥秩父縦走等の登山利用者のための宿泊施設として整備する。	HI2.8.10告示
27	宿舎	埼玉県秩父市 (白岩山)	雲取山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	HI2.8.10告示
30	宿舎	埼玉県秩父市及び東京都西多摩郡奥多摩町 (雲取山)	雲取山の登山利用者のための宿泊施設として整備する。	HI2.8.10告示
31	園地	東京都青梅市 (軍畠)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示
32	駐車場	東京都青梅市 (射村山渓)	御岳渓谷やその周辺の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	HI2.8.10告示
33	案内所	東京都青梅市 (御岳)	奥多摩地区における登山コース、興味対象等について教示案内するための案内所として整備する。	HI2.8.10告示
34	園地	東京都青梅市 (御岳)	散策、ピクニック、風景觀賞、自然觀察等のための園地として整備する。	HI2.8.10告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
36	駐車場	東京都青梅市（滝本）	御岳山やその周辺の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	H12.8.10告示
37	園地	東京都青梅市（梅郷）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
38	園地	東京都青梅市（御岳山）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
39	宿舎	東京都青梅市（御岳山）	御岳山の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
40	休憩所	東京都青梅市（御岳山）	御岳山の自然探勝等の利用者のための休憩所として整備する。	H12.8.10告示
41	博物展示施設	東京都青梅市（御岳山）	御岳山の自然解説、公園利用のための情報提供等を行うための博物展示施設として整備する。	H12.8.10告示
42	園地	東京都青梅市（御岳長尾平）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
44	広場	東京都あきる野市（上養沢）	散策等のための広場として整備する。	H12.8.10告示
45	園地	東京都あきる野市（長岳）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
46	宿舎	東京都あきる野市（長岳）	散策、ピカニッケイ、風景観賞、自然観察等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
47	野営場	東京都あきる野市（長岳）	秋川渓谷の自然とふれあうための野営場として整備する。	H12.8.10告示
50	駐車場	東京都あきる野市（十里木）	秋川渓谷やその周辺の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	H12.8.10告示
52	宿舎	東京都西多摩郡日の出町（日の出山）	日の出山の登山等の利用者のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
55	宿舎	東京都西多摩郡檜原村（大岳山）	大岳山の登山等の利用者のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
56	園地	東京都西多摩郡檜原村（神戸）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
57	野営場	東京都西多摩郡檜原村（神戸）	自然とふれあうための野営場として整備する。	H12.8.10告示
59	園地	東京都西多摩郡檜原村（三頭山）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
60	避難小屋	東京都西多摩郡檜原村（三頭山）	三頭山の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	H12.8.10告示
61	博物展示施設	東京都西多摩郡檜原村（三頭山）	三頭山の自然解説や公園利用のための情報提供等を行うための博物展示施設として整備する。	H12.8.10告示
62	園地	東京都西多摩郡檜原村（ほづさわの滝）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
63	園地	東京都西多摩郡檜原村（浅間瀬）	風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
65	避難小屋	東京都西多摩郡奥多摩町（酉谷山）	酉谷山（天目山）の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	H12.8.10告示
66	避難小屋	東京都西多摩郡奥多摩町（一杯水）	天目山（ミツドッケ）の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	H12.8.10告示
67	避難小屋	東京都西多摩郡奥多摩町（雲取山）	雲取山の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	H12.8.10告示
69	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（日原鍾乳洞）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
70	野営場	東京都西多摩郡奥多摩町（大丹波）	自然とふれあうための野営場として整備する。	H12.8.10告示
73	避難小屋	東京都西多摩郡奥多摩町（鷹ノ巣山）	鷹ノ巣山の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	H12.8.10告示
74	広場	東京都西多摩郡奥多摩町（大丹波）	散策等のための広場として整備する。	H12.8.10告示
75	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（日原大沢）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
76	野営場	東京都西多摩郡奥多摩町（海沢）	自然とふれあうための野営場として整備する。	H12.8.10告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
77	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（鳩ノ巣）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
78	宿舎	東京都西多摩郡奥多摩町（鳩ノ巣）	鳩ノ巣渓谷やその周辺の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
79	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（白丸）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
80	野営場	東京都西多摩郡奥多摩町（氷川）	氷川渓谷の自然とふれあうための野営場として整備する。	HL2.8.10告示
81	公衆浴場	東京都西多摩郡奥多摩町（氷川）	氷川渓谷やその周辺の自然探勝等の利用者のための公衆浴場として整備する。	HL2.8.10告示
82	博物展示施設	東京都西多摩郡奥多摩町（氷川）	奥多摩地区の自然解説や公園利用のための情報提供等を行うための博物展示施設として整備する。	HL2.8.10告示
83	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（登計） ^{とけい}	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
84	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（小河内ダム）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
85	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（大妻代） ^{おおめいしろ}	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
86	園地	東京都西多摩郡奥多摩町（海沢谷）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
88	駐車場	東京都西多摩郡奥多摩町（峰谷）	奥多摩湖畔の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	HL2.8.10告示
89	駐車場	東京都西多摩郡奥多摩町（川野）	奥多摩湖畔の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	HL2.8.10告示
90	駐車場	東京都西多摩郡奥多摩町（留浦）	奥多摩湖畔の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	HL2.8.10告示
91	避難小屋	東京都西多摩郡奥多摩町（御前山）	御前山の登山利用者等の安全を図るために避難小屋として整備する。	HL2.8.10告示
92	休憩所	山梨県甲府市（御室小屋）	金峰山の登山利用者等のための休憩所として整備する。	HL2.8.10告示
93	園地	山梨県甲府市（金櫻）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
95	園地	山梨県甲府市（御岳昇仙峡）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
96	宿舎	山梨県甲府市（御岳昇仙峡）	御岳昇仙峡の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
97	駐車場	山梨県甲府市（天神森）	御岳昇仙峡の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	HL2.8.10告示
98	園地	山梨県甲府市（白山）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
99	宿舎	山梨県甲州市（笠取山）	奥秩父縦走等の登山利用者のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
100	宿舎	山梨県甲州市（将監峠） ^{じょうげんとうげ}	奥秩父縦走等の登山利用者のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
101	野営場	山梨県甲州市（三之瀬）	登山者の拠点となる野営場として整備する。	HL2.8.10告示
102	野営場	山梨県甲州市（藤尾）	自然とふれあうための野営場として整備する。	HL2.8.10告示
103	園地	山梨県甲州市（柳沢峠）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
104	休憩所	山梨県甲州市（千石）	大菩薩嶺の登山利用者等のための休憩所として整備する。	HL2.8.10告示
106	宿舎	山梨県甲州市（大菩薩峠）	大菩薩嶺の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
107	園地	山梨県山梨市（大弛峠）	風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示
108	宿舎	山梨県山梨市（大弛峠）	国師ヶ岳の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
109	宿舎	山梨県山梨市（西沢渓谷）	西沢渓谷の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	HL2.8.10告示
110	園地	山梨県山梨市（広瀬）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	HL2.8.10告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
111	宿舎	山梨県山梨市（広瀬）	広瀬湖畔やその周辺の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
112	休憩所	山梨県山梨市（広瀬）	広瀬湖畔やその周辺の自然探勝等の利用者のための休憩所として整備する。	H12.8.10告示
113	野営場	山梨県山梨市（広瀬）	自然とふれあうための野営場として整備する。	H12.8.10告示
114	駐車場	山梨県山梨市（広瀬）	広瀬湖やその周辺の自然探勝等の利用者のための駐車場として整備する。	H12.8.10告示
115	博物展示施設	山梨県山梨市（広瀬）	広瀬湖やその周辺の自然解説や公園利用のための情報提供等を行うための博物展示施設として整備する。	H12.8.10告示
116	給水施設	山梨県山梨市（広瀬）	広瀬湖やその周辺地区に安定的に飲料水等を給水するための給水施設として整備する。	H12.8.10告示
118	園地	山梨県山梨市（青塙川）	風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
119	園地	山梨県甲斐市（ペノラマ台）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
120	園地	山梨県甲斐市（羅漢寺）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
121	園地	山梨県北杜市（周先ヶ原）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
122	宿舎	山梨県北杜市（周先ヶ原）	周先ヶ原やその周辺の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
123	野営場	山梨県北杜市（周先ヶ原）	自然とふれあうための野営場として整備する。	H12.8.10告示
124	宿舎	山梨県北杜市（大日岩）	金峰山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
125	宿舎	山梨県北杜市（富士見平）	瑞牆山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
126	野営場	山梨県北杜市（富士見平）	登山者の拠点となる野営場として整備する。	H12.8.10告示
127	園地	山梨県北杜市（里宮平）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
128	宿舎	山梨県北杜市（里宮平）	金峰山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
129	駐車場	山梨県北杜市（里宮平）	金峰山の登山利用者等のための駐車場として整備する。	H12.8.10告示
130	園地	山梨県北杜市（増富）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
131	宿舎	山梨県北杜市（増富）	増富温泉やその周辺の自然探勝等の利用者のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
132	駐車場	山梨県北杜市（増富）	増富温泉やその周辺の自然探勝等のための駐車場として整備する。	H12.8.10告示
133	園地	山梨県北杜市（桂平）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
135	宿舎	山梨県北都留郡丹波山村（三条の湯）	奥秩父縦走等の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
136	宿舎	山梨県北都留郡丹波山村（七ツ石山）	雲取山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
137	園地	山梨県北都留郡丹波山村（三条橋）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
138	園地	長野県南佐久郡川上村（毛不場）	散策、ピクニック、風景観賞、自然観察等のための園地として整備する。	H12.8.10告示
140	宿舎	長野県南佐久郡川上村（金峰山）	金峰山の登山利用者等のための宿泊施設として整備する。	H12.8.10告示
141	避難小屋	埼玉県秩父市（樺）	雁坂嶺等への登山利用者等の安全を図るための避難小屋として整備する。	H20.2.18告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
142	園地	東京都青梅市及び西多摩郡日の出町（日の出山） 山梨県甲州市及び北都留郡小菅村（大菩薩峠）	風景鑑賞、自然観察等のための園地として整備する。	H20. 2. 18告示
143	園地	埼玉県秩父市（十文字峠）	風景鑑賞、自然観察等のための園地として整備する。	H20. 2. 18告示
144	野営場	埼玉県秩父市（甲武信ヶ岳）	十文字山の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
145	野営場	埼玉県秩父市（雁坂峠）	奥秩父縦走等の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
146	野営場	埼玉県秩父市、東京都西多摩郡奥多摩町（雲取山）	奥秩父縦走等の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
147	野営場	埼玉県秩父市、山梨県北都留郡丹波山村（雲取山）	雲取山の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
148	野営場	東京都西多摩郡奥多摩町、山梨県北都留郡丹波山村（五十人平）	雲取山等の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
149	野営場	山梨県山梨市（大弥陀峠）	国師ヶ岳の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
150	野営場	山梨県北杜市（大日岩）	金峰山の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
151	野営場	山梨県甲州市（笠取山）	奥秩父縦走等の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
152	野営場	山梨県甲州市（将監峠）	奥秩父縦走等の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
153	宿舎	山梨県甲州市（丸川峠）	大菩薩嶺等の登山利用者等のための宿泊施設として整備する	R5. 3. 31告示
154	避難小屋	山梨県甲州市（大菩薩峠）	大菩薩嶺の登山利用者等の安全を図るためにための避難小屋として整備する	R5. 3. 31告示
155	野営場	山梨県甲州市（大菩薩峠）	大菩薩嶺の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
156	野営場	山梨県北都留郡丹波山村（三条の湯）	奥秩父縦走等の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示
157	野営場	山梨県北都留郡丹波山村（七ツ石山）	雲取山の登山利用者等のための野営場として整備する	R5. 3. 31告示

(ウ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 16 : 道路(車道)表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	両神山線	起点－埼玉県秩父郡小鹿野町（広河原・国立公園境界） 終点－埼玉県秩父郡小鹿野町（白井差）		秩父方面から両神山への登山口にあたる白井差への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
2	中津川八丁峠線	起点－埼玉県秩父市（出合・車道分岐点） 終点－埼玉県秩父市（八丁峠・国立公園境界）		神流川流域の風景観賞等のための道路として整備する。	H12.8.10 告示
3	中津川梓山線	起点－埼玉県秩父市（塩沢・車道分岐点） 終点－長野県南佐久郡川上村（三国峠・国立公園境界） 起点－長野県南佐久郡川上村（梓山・国立公園境界） 終点－長野県南佐久郡川上村（梓山・国立公園境界）	中津峠、三国峠	埼玉県側と長野県側とを結ぶ連絡道路として整備する。	H12.8.10 告示
4	秩父広瀬線	起点－埼玉県秩父市（強石・国立公園境界） 終点－山梨県山梨市（円川・国立公園境界） 終点－埼玉県秩父市（川又・車道合流点） 終点－埼玉県秩父市（川又・車道合流点）	大輪、滝沢、秩父湖、栃木、広瀬湖	埼玉県側と山梨県側とを結ぶ連絡道路として整備する。	H12.8.10 告示
5	二瀬三峰線	起点－埼玉県秩父市（二瀬・車道分岐点） 終点－埼玉県秩父市（三峰）		三峰集団施設地区への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
6	大血川三峰線	起点－埼玉県秩父市（大達原・車道分岐点） 終点－埼玉県秩父市（三峰）	太陽寺	三峰集団施設地区への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
7	御岳滝本線	起点－東京都青梅市（御岳・車道分岐点） 終点－東京都青梅市（滝本）		御岳山の玄関口である滝本への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
8	青梅塩山線	起点－東京都青梅市（日向和田・国立公園境界） 終点－山梨県甲州市（裂石・国立公園境界）	御岳渓谷、鳩ノ巣渓谷、氷川渓谷、奥多摩湖、丹波渓谷、柳沢峠	東京都側と山梨県側とを結ぶ主要連絡道路として整備する。	H12.8.10 告示
9	多摩川南岸線	起点－東京都青梅市（梅郷・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（氷川・車道合流点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（小丹波・車道合流点）	吉野梅郷、御岳渓谷、鳩ノ巣渓谷	青梅市方面から多摩川南岸を通り氷川に至る連絡道路として整備する。	H12.8.10 告示
10	十里木養沢線	起点－東京都あきる野市（十里木・国立公園境界） 終点－東京都あきる野市（上養沢）		八王子方面から日の出山の登山口にあたる上養沢への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
11	十里木小河内線	起点－東京都あきる野市（十里木・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡檜原村（下川乗・国立公園境界） 起点－東京都西多摩郡檜原村（下川乗・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡檜原村（下川乗・国立公園境界） 起点－東京都西多摩郡檜原村（下川乗・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（三頭橋・車道合流点）	秋川渓谷、数馬、風張峠、月夜見山、奥多摩湖	八王子方面と奥多摩湖とを結ぶ連絡道路として整備する。	H12.8.10 告示
12	肝要三ツ沢線	起点－東京都西多摩郡日の出町（肝要・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡日の出町（三ツ沢）		八王子方面から日の出山の登山口にあたる三ツ沢への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
13	大沢神戸線	起点－東京都西多摩郡檜原村（大沢・車道分岐点） 終点－東京都西多摩郡檜原村（神戸）		神戸園地等への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
14	もとじゅくひなたびら 本宿日向平線	起点－東京都西多摩郡檜原村（本宿・車道分岐点） 終点－東京都西多摩郡檜原村（日向平）		本宿から日向平への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
16	川井大丹波線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（川井・車道分岐点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（大丹波）		大丹波広場等への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
17	氷川日原線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（氷川・車道分岐点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（日原） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（倉沢谷）	日原渓谷	日原鍾乳洞園地等への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示 (区間変更)
18	坂本峰谷線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（坂本・車道分岐点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（峰谷）		鷹ノ巣山等の登山口にあたる峰谷への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
19	川野小菅線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（深山橋・車道分岐点） 終点－山梨県北都留郡小菅村（橋立）		奥多摩湖方面から大菩薩嶺等の登山口にあたる橋立への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
20	甲府増富線	起点－山梨県甲斐市 (長瀞橋・国立公園境界) 終点－山梨県北杜市 (塩川・国立公園境界)	御岳昇仙峡、能泉湖、野猿谷、金櫻神社、木賊峠、増富	甲府方面から御岳昇仙峡を経て増富温泉方面に至る連絡道路として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
21	御岳昇仙峡線	起点－山梨県甲府市 (河方・車道分岐点) 終点－山梨県甲府市 (竹日向・車道合流点)	御岳昇仙峡	御岳昇仙峡の風景観賞等のための道路として整備する。	H12.8.10 告示
22	和田峠天神森線	起点－山梨県甲府市 (和田・国立公園境界) 終点－山梨県甲府市 (天神森・車道合流点)	和田峠、千代田湖	甲府市街から御岳昇仙峡への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
23	落合花魁淵線	起点－山梨県甲州市 (落合・車道分岐点) 終点－山梨県甲州市 (花魁淵・車道合流点)	一之瀬	奥秩父主稜等の登山口にあたる一之瀬への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
24	黒森本谷川線	起点－山梨県北杜市 (黒森・国立公園境界) 終点－山梨県北杜市 (落合・車道合流点)	里宮平	金峰山等の登山口にあたる里宮平への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
25	梓山毛木場線	起点－長野県南佐久郡川上村 (梓山・車道分岐点) 終点－長野県南佐久郡川上村 (毛木場)		甲武信ヶ岳等の登山口にあたる毛木場への到達道路として整備する。	H12.8.10 告示
26	川上牧丘線	起点－山梨県山梨市牧丘町 (柳平・国立公園境界) 終点－山梨県山梨市牧丘町 (大弛峠)	アコウの土場	金峰山、国師ヶ岳、北奥仙丈岳の登山口にあたる大弛峠への到達道路として整備する。	R5.3.31 告示
27	荒川線	起点－山梨県山梨市牧丘町 (北原・国立公園境界) 終点－山梨県甲府市黒平町 (黒平・車道合流点)		金峰山の眺望、甲府市の水道水源である荒川流域の風景観賞等及び山梨市方面から甲府市方面に至る連絡道路として整備する。	R5.3.31 告示

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 17: 道路(歩道)表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	あつぱと 集人両神山線	起点-埼玉県秩父郡小鹿野町(集人・国立公園境界) 終点-埼玉県秩父郡小鹿野町及び秩父市(両神山・歩道合流点) 終点-埼玉県秩父郡小鹿野町(清滝小屋上・歩道合流点)	清滝	集人から両神山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
2	白井差両神山線	起点-埼玉県秩父郡小鹿野町(白井差) 終点-埼玉県秩父郡小鹿野町(清滝小屋・歩道合流点) 終点-埼玉県秩父郡小鹿野町(両神神社・歩道合流点)	一位ガタワ	白井差から両神山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
3	白井差大峠線	起点-埼玉県秩父郡小鹿野町(白井差) 終点-埼玉県秩父郡小鹿野町及び秩父市(大峠・歩道合流点)		白井差と両神山縦走線歩道とを連絡する登山道として整備する。	H12.8.10 告示
4	両神山縦走線	起点-埼玉県秩父市(中双里) 終点-埼玉県秩父市(上落合橋)	両神山 八丁峠	中双里から両神山を経て上落合橋に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
5	三国山十文字峠線	起点-埼玉県秩父市及び長野県南佐久郡川上村(三国山・国立公園境界) 終点-埼玉県秩父市及び長野県南佐久郡川上村(十文字峠・歩道合流点)	三国峠	三国山から十文字峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
6	塩沢二瀬線	起点-埼玉県秩父市(塩沢) 終点-埼玉県秩父市(二瀬)		塩沢から二瀬に至る自然探勝歩道として整備する。	H12.8.10 告示
7	御岳山線	起点-埼玉県秩父市(強石) 終点-埼玉県秩父市(落合)	御岳山	強石から御岳山を経て落合に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
8	白泰山線	起点-埼玉県秩父市(栃本) 起点-埼玉県秩父市(栃本) 終点-埼玉県秩父市(四里観音・歩道合流点)	白泰山	栃本から白泰山を経て十文字峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
9	二瀬三峰線	起点-埼玉県秩父市(二瀬) 終点-埼玉県秩父市(三峰・歩道合流点)	三峯神社	二瀬から三峰に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
10	大輪三峰線	起点-埼玉県秩父市(大輪) 終点-埼玉県秩父市(三峰・歩道合流点)		大輪から三峰に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
11	川又十文字峠線	起点-埼玉県秩父市(川又) 終点-埼玉県秩父市及び長野県南佐久郡川上村(十文字峠南・歩道合流点)	入川 柳小屋	川又から入川沿いを通り十文字峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
12	川又雁坂峠線	起点-埼玉県秩父市(川又) 終点-埼玉県秩父市及び山梨県山梨市(雁坂峠・歩道合流点)	つんだし 突出峠 雁坂小屋	川又から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
13	白石山線	起点-埼玉県秩父市(二瀬) 終点-埼玉県秩父市及び山梨県甲州市(山ノ神土・歩道合流点) 終点-埼玉県秩父市(白石山)	白石山 東仙波	奥秩父主稜から白石山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
14	真の沢線	起点-埼玉県秩父市(柳小屋・歩道分岐点) 終点-埼玉県秩父市、山梨県山梨市及び長野県南佐久郡川上村(甲武信ヶ岳・歩道合流点)	真の沢	柳小屋から真の沢沿いを通り甲武信ヶ岳に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
15	三峰雲取山線	起点-埼玉県秩父市(三峰・歩道分岐点) 終点-埼玉県秩父市、東京都西多摩郡奥多摩町及び山梨県北都留郡丹波山村(雲取山・歩道合流点)	霧藻ヶ峰 白岩山	三峰から雲取山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
16	大日向霧藻ヶ峰線	起点-埼玉県秩父市(大日向) 終点-埼玉県秩父市(霧藻ヶ峰・歩道合流点)		大日向から霧藻ヶ峰に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
17	黒岩尾根線	起点-埼玉県秩父市(豆焼沢) 終点-埼玉県秩父市(雁坂小屋・歩道合流点)	黒岩	豆焼沢から黒岩尾根を通り奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
18	奥秩父縦走線	起点-埼玉県秩父市、東京都西多摩郡奥多摩町及び山梨県北都留郡丹波山村(雲取山・歩道分岐点) 終点-山梨県甲府市及び長野県南佐久郡川上村(金峰山・歩道合流点)	大洞山、将監峠、牛王院平、笠取山、雁峠、雁坂峠、甲武信ヶ岳、国師ヶ岳、朝日岳	雲取山から金峰山に至る奥秩父主稜を縦走する登山道として整備する。	H12.8.10 告示
19	いくさばたいわたけ 軍畑岩茸石山線	起点-東京都青梅市(軍畑) 終点-東京都青梅市及び東京都西多摩郡奥多摩町(岩茸石山・歩道合流点)	たかみず 高水山	軍畑から岩茸石山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
20	吉野日の出山線	起点－東京都青梅市（柚木） 起点－東京都青梅市（梅郷・国立公園境界） 終点－東京都青梅市及び東京都西多摩郡日の出町（日の出山・歩道合流点）	琴平神社	梅郷から日の出山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
21	吉野冰川線	起点－東京都青梅市（日向和田・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（登計）	御岳渓谷 鳩ノ巣渓谷	日向和田から冰川までの多摩川の自然を探勝するための歩道として整備する。	H12.8.10 告示
22	御岳山三頭山線	起点－東京都青梅市（御岳山・歩道分岐点） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（三頭山・歩道合流点）	大岳山、鋸山、 御前山、月夜見山	御岳山から三頭山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
23	軍道大岳山線	起点－東京都あきる野市（軍道） 終点－東京都あきる野市及び東京都西多摩郡檜原村（つづら岩・歩道合流点） 起点－東京都西多摩郡檜原村（八割・歩道分岐点） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（大岳山・歩道合流点）	まづかり 馬頭刈山	軍道から大岳山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
24	三ツ沢日の出山線	起点－東京都西多摩郡日の出町（三ツ沢） 終点－東京都西多摩郡日の出町（日の出山南東・歩道合流点）		三ツ沢から日の出山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
25	日向平水久保沢線	起点－東京都西多摩郡檜原村（日向平） 終点－東京都西多摩郡奥多摩村（水久保沢・歩道合流点）	小河内峠	日向平と水久保沢とを連絡する登山道として整備する。	H12.8.10 告示
26	宮ヶ谷戸御前山線	起点－東京都西多摩郡檜原村（宮ヶ谷戸） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（御前山・歩道合流点）		宮ヶ谷戸から御前山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
27	数馬三頭山線	起点－東京都西多摩郡檜原村（数馬上） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（三頭山・歩道合流点）	楨寄山	数馬から三頭山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
28	数馬浅間嶺線	起点－東京都西多摩郡檜原村（数馬上） 起点－東京都西多摩郡檜原村（数馬下） 終点－東京都西多摩郡檜原村（浅間嶺・歩道合流点）	浅間尾根	数馬から浅間尾根を通り浅間嶺に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
29	笛吹楨寄山線	起点－東京都西多摩郡檜原村（笛吹） 終点－東京都西多摩郡檜原村（楨寄山・歩道合流点）	笛吹峠	笛吹から楨寄山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
30	首都圏自然歩道線	起点－東京都西多摩郡檜原村（上川乗・国立公園境界） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（大丹波）	浅間嶺、つづら岩、 大岳沢、日の出山、 御岳山、御岳、 惣岳山、岩茸石山、 棒ノ嶺、百軒茶屋	首都圏自然歩道として整備する。	H12.8.10 告示
31	川苔山天目山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（踊平・歩道分岐点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（一杯水・歩道合流点）	日向沢ノ峰 そばつぶやま 蕎麦粒山	川苔山北方の踊平と天目山南方の一杯水とを連絡する登山道として整備する。	H12.8.10 告示
32	日原西谷山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（日原鍾乳洞） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（西谷山・歩道合流点）	小川谷	日原から小川谷を通り西谷山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
33	天祖山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（八丁橋・歩道分岐点） 終点－埼玉県秩父市及び東京都西多摩郡奥多摩町（梯子坂ノ頭・歩道合流点）	天祖神社 天祖山	日原川から天祖山を経て水松山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
34	川苔山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（百軒茶屋・歩道分岐点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（鳩ノ巣）	踊平	百軒茶屋から大丹波川沿いを通り川苔山を経て鳩ノ巣に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
35	日原雲取山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（小川谷橋） 終点－埼玉県秩父市及び東京都西多摩郡奥多摩町（芋ノ木ドッケ・歩道合流点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町及び山梨県北都留郡丹波山村（小雲取山・歩道合流点）	二軒小屋尾根 野陣尾根	日原から芋ノ木ドッケ及び小雲取山に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
36	日原芋ノ木ドッケ線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（日原） 終点－埼玉県秩父市及び東京都西多摩郡奥多摩町（芋ノ木ドッケ・歩道合流点）	一杯水 西谷山	日原から芋ノ木ドッケに至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
37	日原七ツ石山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（日原） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町及び山梨県北都留郡丹波山村（ブナ坂・歩道合流点）	鷹ノ巣山	日原から七ツ石山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
38	川苔谷線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（川乗橋） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（川苔山・歩道合流点）	百尋ノ滝	川苔谷を通り川苔山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
39	小丹波川苔山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（小丹波） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（曲ヶ谷北峰・歩道合流点）	あかくな 赤久奈山	小丹波から川苔山東方の曲ヶ谷北峰に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
40	鳩ノ巣御岳山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（鳩ノ巣・歩道分岐点） 起点－東京都西多摩郡奥多磨町（寸庭・歩道分岐点） 終点－東京都青梅市（御岳山・歩道合流点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（海沢）	大檜峠	鳩ノ巣及び寸庭から御岳山に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
41	丹三郎御岳山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（丹三郎） 終点－東京都青梅市（御岳山・歩道合流点）	大塚山	丹三郎から大塚山を経て御岳山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
42	氷川川苔山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（氷川） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（舟井戸・歩道合流点）	ほにた 本仁田山	氷川から本仁田山を経て川苔山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
43	氷川鷹ノ巣山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（氷川） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（鷹ノ巣山・歩道合流点）	むついし 六ツ石山	氷川から六ツ石山を経て鷹ノ巣山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
44	氷川鋸山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（氷川） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（鋸山・歩道合流点）		氷川から鋸山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
45	境御前山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（境橋） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（御前山・歩道合流点）	とちより 柄寄	境橋から柄寄を経て御前山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
46	峰谷鷹ノ巣山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（峰谷） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（鷹ノ巣山避難小屋・歩道合流点）		峰谷から鷹ノ巣山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
47	水根六ツ石山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（水根） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（六ツ石山・歩道合流点）		水根から六ツ石山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
48	水根御前山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（水根） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（惣岳山・歩道合流点）	サス沢山	水根からサス沢山を経て御前山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
49	奥多摩湖南岸線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（平ヶ谷・歩道分岐点） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（三頭橋）	奥多摩湖岫沢集団施設地区	奥多摩湖南岸の自然を探勝する歩道として整備する。	H12.8.10 告示
50	奥多摩湖鷹ノ巣山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（熱海） 起点－東京都西多摩郡奥多摩町（女の湯） 終点－東京都西多摩郡奥多摩町（水根山・歩道合流点）	くらとやま 倉戸山 かやのきやま 樅ノ木山	奥多摩湖畔の熱海及び女の湯から倉戸山、樅ノ木山を経て鷹ノ巣山に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
51	奥多摩湖三頭山線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（川野） 起点－東京都西多摩郡奥多摩町（三頭橋） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（三頭山・歩道合流点）	イヨ山 ヌカザス山 ムロクボ尾根	奥多摩湖畔から三頭山に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
52	岫沢鞘口峠線	起点－東京都西多摩郡奥多摩町（岫沢・歩道分岐点） 終点－東京都西多摩郡檜原村及び同郡奥多摩町（鞘口峠・歩道合流点）		奥多摩湖岫沢集団施設地区から鞘口峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
53	黒平金峰山線	起点－山梨県甲府市（黒平） 終点－山梨県甲府市及び長野県南佐久郡川上村（金峰山・歩道合流点）	水晶峠	黒平から金峰山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
54	三之瀬将監峠線	起点－山梨県甲州市（三之瀬） 終点－山梨県甲州市（将監小屋・歩道合流点）		三之瀬から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (名称及び区間の変更)
55	一之瀬笠取山線	起点－山梨県甲州市（一之瀬） 終点－埼玉県秩父市及び山梨県甲州市（笠取山・歩道合流点）		一之瀬から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
56	落合大菩薩峠線	起点－山梨県甲州市（落合） 起点－山梨県甲州市（柳沢峠） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡小菅村（大菩薩峠・歩道合流点）	横手峠、三本木、 丸川峠、大菩薩嶺、 雷岩、 ^{かんべ} 神部岩、 ^{さい} 賽ノ河原	落合及び柳沢峠から大菩薩嶺を経て大菩薩峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
57	鶲冠山線	起点－山梨県甲州市（三重河原） 終点－山梨県甲州市（鶲冠山西方・歩道合流点）	横手峠 鶲冠山	三重河原から鶲冠山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
58	裂石大菩薩峠線	起点－山梨県甲州市（裂石・国立公園境界） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡丹波山村（雷岩・歩道合流点） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡丹波山村（ ^{かんべ} 神部岩・歩道合流点） 終点－山梨県甲州市、山梨県北都留郡小菅村及び同郡丹波山村（ ^{さい} 賽ノ河原・歩道合流点） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡小菅村（大菩薩峠・歩道合流点） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡小菅村（ ^{いしまるとうげ} 石丸峠・歩道合流点）	かみひかわ 上日川峠 富士見峠	裂石から大菩薩峠等に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
59	鷹見岩線	起点－山梨県山梨市（東沢渓谷・歩道分岐点） 終点－山梨県山梨市（西沢渓谷・歩道合流点）	鷹見岩	鷹見岩を通り東沢渓谷と西沢渓谷とを連絡する登山道として整備する。	H12.8.10 告示
60	東沢甲武信ヶ岳線	起点－山梨県山梨市（二俣・歩道分岐点） 終点－埼玉県秩父市及び山梨県山梨市（甲武信小屋・歩道合流点）	東沢渓谷	笛吹川源流の東沢沿いを通り甲武信ヶ岳に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
61	木賊山線	起点－山梨県山梨市（西沢渓谷・歩道分岐点） 起点－山梨県山梨市（西沢渓谷・歩道分岐点） 終点－埼玉県秩父市及び山梨県山梨市（木賊山・歩道合流点）		西沢渓谷入口から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
63	黒金山線	起点－山梨県山梨市（西沢渓谷・歩道分岐点） 起点－山梨県山梨市（幕岩・国立公園境界） 終点－山梨県山梨市（大ダオ・歩道合流点） 終点－山梨県山梨市（水ノタル・歩道合流点）	牛首ノタル 黒金山 水ノタル	西沢渓谷等から黒金山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
64	西沢渓谷線	起点－山梨県山梨市（広瀬） 終点－山梨県山梨市（西沢渓谷・歩道合流点）	七ツ釜五段ノ滝	西沢渓谷を周回する自然探勝歩道として整備する。	H12.8.10 告示
65	広瀬雁坂峠線	起点－山梨県山梨市（広瀬） 終点－埼玉県秩父市及び山梨県山梨市（雁坂峠・歩道合流点）		広瀬から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
66	広瀬雁峠線	起点－山梨県山梨市（広瀬） 終点－埼玉県秩父市及び山梨県山梨市（雁峠・歩道合流点）		広瀬から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
67	白沢笠取山線	起点－山梨県山梨市（白沢） 終点－山梨県甲州市（笠取小屋・歩道合流点）		白沢から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
68	乾徳山線	起点－山梨県山梨市（国師ヶ原・国立公園境界） 起点－山梨県山梨市（小屋沢ノ頭・国立公園境界） 終点－山梨県山梨市（水ノタル・歩道合流点）	乾徳山	徳和から乾徳山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
69	徳和渓谷線	起点－山梨県山梨市（西奥山窪・歩道分岐点） 終点－山梨県山梨市（西奥山窪・歩道合流点）		徳和渓谷を周回する自然探勝歩道として整備する。	H12.8.10 告示
70	大ダオ国師ヶ岳線	起点－山梨県山梨市（大ダオ・歩道分岐点） 終点－山梨県山梨市及び長野県南佐久郡川上村（国師ヶ岳・歩道合流点）	奥千丈岳 北奥千丈岳	大ダオから奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (名称及び区間の変更)
71	長瀬パノラマ台線	起点－山梨県甲斐市（長瀬橋・国立公園境界） 終点－山梨県甲斐市（パノラマ台）		御岳昇仙峡入口の長瀬橋からパノラマ台に至る自然探勝歩道として整備する。	H12.8.10 告示
72	小川山線	起点－山梨県北杜市（ヤナギ坂・歩道分岐点） 終点－山梨県北杜市及び長野県南佐久郡川上村（小川山）		瑞牆山線歩道から分岐し小川山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
73	瑞牆山線	起点－山梨県北杜市（富士見平・歩道分岐点） 終点－山梨県北杜市（周先ヶ原）	瑞牆山	富士見平から瑞牆山を経て周先ヶ原に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
74	里宮平金峰山線	起点－山梨県北杜市（里宮平） 終点－山梨県甲府市及び長野県南佐久郡川上村（金峰山・歩道合流点）	富士見平 大日岩	里宮平から金峰山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
75	増富温泉線	起点－山梨県北杜市（増富温泉） 終点－山梨県北杜市（増富温泉）		増富温泉の自然を探勝する歩道として整備する。	H12.8.10 告示
76	小菅大菩薩峠線	起点－山梨県北都留郡小菅村（橋立） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡小菅村（大菩薩峠・歩道合流点）		橋立から大菩薩峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
77	田元大菩薩峠線	起点－山梨県北都留郡小菅村（田元・国立公園境界） 終点－山梨県甲州市及び山梨県北都留郡小菅村（大菩薩峠・歩道合流点）	牛ノ寝通り	田元から大菩薩峠に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
78	三条の湯線	起点－山梨県北都留郡丹波山村（三条ダルミ・歩道分岐点） 終点－山梨県北都留郡丹波山村（三条の湯）		奥秩父主稜から三条の湯に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
79	丹波飛龍山線	起点－山梨県北都留郡丹波山村（上組） 起点－山梨県北都留郡丹波山村（下組） 終点－山梨県北都留郡丹波山村（飛龍山・歩道合流点）	熊倉山 前飛龍 たばんでいろう 丹波天平	上組及び下組から奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
80	丹波大菩薩峠線	起点－山梨県北都留郡丹波山村（押垣外） 起点－山梨県北都留郡丹波山村（上組） 終点－山梨県北都留郡小菅村及び同郡丹波山村（フルコンバッパ小屋跡・歩道合流点）	藤タワ サカリ山	上組及び押垣外から大菩薩峠に至る登山道として整備する。	R5.3.31 告示 H12.8.10 告示の変更 (区間の変更)
81	鴨沢雲取山線	起点－山梨県北都留郡丹波山村（鴨沢） 終点－埼玉県秩父市、東京都西多摩郡奥多摩町及び山梨県北都留郡丹波山村（雲取山・歩道合流点）	七ツ石山 小雲取山	鴨沢から雲取山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
82	毛木場甲武信ヶ岳線	起点－長野県南佐久郡川上村（毛木場） 終点－埼玉県秩父市、山梨県山梨市及び長野県南佐久郡川上村（甲武信ヶ岳・歩道合流点）	十文字峠 さんぼうさん 三宝山	毛木場から十文字峠を経て甲武信ヶ岳に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
83	千曲川源流線	起点－長野県南佐久郡川上村（毛木場） 終点－山梨県山梨市及び長野県南佐久郡川上村（甲武信ヶ岳西方・歩道合流点）		毛木場から千曲川源流を通り奥秩父主稜に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示
84	川端下金峰山線	起点－長野県南佐久郡川上村（川端下・国立公園境界） 終点－山梨県甲府市及び長野県南佐久郡川上村（金峰山・歩道合流点）		川端下から金峰山に至る登山道として整備する。	H12.8.10 告示

(エ) 運輸施設
運輸施設を次のとおりとする。

(表18：運輸施設表)

番号	路線名	種類	位置又は区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	三峰山線	索道運送施設	起点－埼玉県秩父市（大輪） 終点－埼玉県秩父市（三峰）		大輪から三峰に至る索道（ロープウェイ）として整備する。	H12.8.10 告示
2	御岳山線	鉄道運送施設	起点－東京都青梅市（滝本） 終点－東京都青梅市（御岳平）		滝本から御岳平に至る鉄道（ケーブルカー）として整備する。	H12.8.10 告示
3	御岳富士峰線	索道運送施設	起点－東京都青梅市（御岳平） 終点－東京都青梅市（富士峰）		御岳平から富士峰に至る索道（リフト）として整備する。	H12.8.10 告示
4	御岳昇仙峡線	索道運送施設	起点－山梨県甲府市（御岳昇仙峡） 終点－山梨県甲府市（ペノラマ台）		御岳昇仙峡からペノラマ台に至る索道（ロープウェイ）として整備する。	H12.8.10 告示

4 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

昭和 25 年 7 月 10 日	公園区域の指定
平成 12 年 8 月 10 日	公園区域の再検討
平成 20 年 2 月 18 日	公園計画の一部変更（第一次点検）
令和 5 年 3 月 31 日	公園区域の点検（第二次点検）

イ 規制計画

昭和 30 年 3 月 30 日	特別地域（未区分）の指定
昭和 33 年 5 月 31 日	特別地域の一部変更（小河内特別地域（未区分）の追加）
昭和 37 年 12 月 7 日	特別地域の区域変更（秩父湖周辺特別地域（第 3 種特別地域）の追加）
昭和 43 年 8 月 23 日	特別地域の区域変更（小河内特別地域、御岳・三頭山特別地域（第 3 種特別地域）の追加）
平成 12 年 8 月 10 日	公園計画の再検討
平成 20 年 2 月 18 日	公園計画の一部変更（第一次点検）
令和 5 年 3 月 31 日	規制計画の点検（第二次点検）

ウ 事業計画

昭和 27 年 10 月 13 日	利用計画の決定（秋川集団施設地区の一般計画決定、広場 1、宿舎 1、野営場 1、歩道 1）
昭和 29 年 2 月 18 日	利用計画の決定（三峯及び御岳集団施設地区の一般計画決定及び苑地追加）
昭和 30 年 3 月 30 日	利用計画の決定（一ノ瀬及び増富集団施設地区の一般計画決定及び苑地追加 26、広場追加 15、宿舎追加 36、野営場追加 4、車道追加 22、歩道追加 55）
昭和 31 年 8 月 18 日	利用計画の決定（野営場追加 1）
昭和 31 年 12 月 10 日	利用計画の決定（宿舎追加 1）
昭和 31 年 12 月 17 日	利用計画の決定（苑地追加 1）
昭和 32 年 5 月 8 日	利用計画の決定（苑地追加 1）
昭和 33 年 5 月 31 日	利用計画の決定（小河内集団施設地区の一般計画決定、車道追加 1、歩道追加 2）及び一部変更（車道変更 1、歩道変更 1）
昭和 33 年 9 月 18 日	利用計画の決定（宿舎追加 1）
昭和 34 年 3 月 24 日	利用計画の決定（避難小屋追加 2、スケート場追加 1）
昭和 34 年 10 月 26 日	利用計画の決定（園地追加 1）
昭和 35 年 3 月 14 日	利用計画の決定（宿舎追加 1）
昭和 35 年 5 月 17 日	利用計画の決定（宿舎追加 1、野営場追加 1）
昭和 35 年 6 月 11 日	利用計画の決定（索道追加 1）
昭和 35 年 11 月 14 日	利用計画の決定（鋼索鉄道追加 1、索道追加 2）
昭和 35 年 12 月 26 日	利用計画の決定（園地追加 1）
昭和 36 年 4 月 4 日	利用計画の決定（宿舎追加 1）
昭和 36 年 6 月 8 日	利用計画の決定（駐車場追加 1、歩道追加 1）
昭和 36 年 10 月 24 日	利用計画の決定（宿舎追加 1）
昭和 37 年 12 月 7 日	利用計画の決定（三峯集団施設地区を三峯秩父湖集団施設地区に改称し区域指定及び詳細計画決定、車道追加 1）

昭和 38 年 10 月 10 日	利用計画の一部変更（宿舎→避難小屋 1）
昭和 39 年 8 月 20 日	利用計画の決定（索道追加 1）
昭和 40 年 6 月 9 日	利用計画の決定（宿舎追加 1）及び一部変更（三峯秩父湖集団施設地区の区域変更及び詳細計画変更、車道変更 1）
昭和 40 年 10 月 23 日	利用計画の決定（歩道追加 1）
昭和 43 年 4 月 15 日	利用計画の一部変更（車道変更 1）
昭和 45 年 4 月 11 日	利用計画の決定（車道追加 1）
昭和 45 年 5 月 21 日	利用計画の一部変更（宿舎→避難小屋 1）
昭和 47 年 9 月 16 日	利用計画の一部決定（歩道追加 1）及び一部変更（苑地→園地 1）
昭和 57 年 5 月 17 日	利用計画の一部変更（歩道（首都圏自然歩道線）追加 1、歩道変更 5、歩道削除 3）
昭和 62 年 2 月 19 日	利用計画の一部変更（博物展示施設追加 1）
平成 12 年 8 月 10 日	公園計画の再検討
平成 20 年 2 月 18 日	公園計画の一部変更（第一次点検）（避難小屋追加 1、園地追加 2、園地削除 6、避難小屋削除 2、博物展示施設削除 1、駐車場削除 1、宿舎削除 1、運動場削除 1、広場削除 2、車道削除 1、車道変更 1）
令和 5 年 3 月 31 日	施設計画の一部変更（第二次点検）（野営場追加 12、宿舎追加 1、避難小屋 1 追加、園地削除 4、宿舎削除 3、避難小屋削除 3、広場削除 1、博物展示施設削除 1、野営場削除 1、車道追加 2、車道変更 1、歩道削除 1、歩道変更 8）

